

## 目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
生涯学習課	生涯学習の推進	5922	社会教育総務管理費	社会教育総務経常管理費	簡易	1
生涯学習課	生涯学習の推進	5926	社会教育総務管理費	上齋地域域高校生教育支援補助金	総合	2-3
生涯学習課	人権尊重と人権意識の高揚	5930	人権教育事業費	人権教育市町村サポート事業費	総合	4-5
生涯学習課	人権尊重と人権意識の高揚	5931	人権教育事業費	人権教育推進費	簡易	6
生涯学習課	青少年の健全育成	5940	おかやま子ども応援事業費	おかやま子ども応援事業費	総合	7-8
生涯学習課	青少年の健全育成	5945	二十歳を祝う会開催事業費	二十歳を祝う会開催事業費	総合	9-10
生涯学習課	生涯学習の推進	5950	社会教育学級開設費	社会教育学級開設費	総合	11-12
生涯学習課	青少年の健全育成	5965	かがみのっ子表彰事業費	かがみのっ子表彰事業費	総合	13-14
生涯学習課	青少年の健全育成	5970	子育て学習推進事業費	子育て学習推進事業費	総合	15-16
生涯学習課	生涯学習の推進	5975	シニアスクール推進事業費	シニアスクール推進事業費	総合	17-18
生涯学習課	生涯学習の推進	5980	各種団体補助金	苫田郡PTA連合会補助金	総合	19-20
生涯学習課	生涯学習の推進	5984	各種団体補助金	鏡野町文化協会補助金	総合	21-22
生涯学習課	生涯学習の推進	5985	各種団体補助金	鏡野町婦人協議会補助金	総合	23-24
生涯学習課	青少年の健全育成	5988	各種団体補助金	青年団補助金	簡易	25
生涯学習課	青少年の健全育成	6015	青少年健全育成協議会開催費	青少年健全育成協議会開催費	簡易	26
生涯学習課	生涯学習の推進	6020	生涯学習推進事業費	生涯学習推進事業費	総合	27-28
生涯学習課	生涯学習の推進	6030	文芸選奨推進事業費	文芸選奨推進事業費	総合	29-30
生涯学習課	人権尊重と人権意識の高揚	6040	子どものエンパワメント育成事業費	子どものエンパワメント育成事業費	総合	31-32
生涯学習課	学校教育の充実	6063	鏡野町中学生夢づくり事業	鏡野町中学生夢づくり事業	総合	33-34
生涯学習課	生涯学習の推進	6252	公民館管理費	公民館共通経常管理費	簡易	35
生涯学習課	生涯学習の推進	6254	公民館管理費	中央公民館経常管理費	簡易	36
生涯学習課	生涯学習の推進	6256	公民館管理費	芳野公民館経常管理費	簡易	37
生涯学習課	生涯学習の推進	6258	公民館管理費	大野公民館経常管理費	簡易	38
生涯学習課	生涯学習の推進	6259	公民館管理費	大野公民館臨時管理費	簡易	39
生涯学習課	生涯学習の推進	6260	公民館管理費	小田公民館経常管理費	簡易	40
生涯学習課	生涯学習の推進	6262	公民館管理費	中谷公民館経常管理費	簡易	41
生涯学習課	生涯学習の推進	6263	公民館管理費	中谷公民館臨時管理費	簡易	42
生涯学習課	生涯学習の推進	6264	公民館管理費	香南公民館経常管理費	簡易	43
生涯学習課	生涯学習の推進	6265	公民館管理費	香南公民館臨時管理費	簡易	44
生涯学習課	生涯学習の推進	6266	公民館管理費	香北公民館経常管理費	簡易	45
生涯学習課	生涯学習の推進	6268	公民館管理費	郷公民館経常管理費	簡易	46
生涯学習課	生涯学習の推進	6269	公民館管理費	郷公民館臨時管理費	簡易	47
生涯学習課	生涯学習の推進	6270	公民館管理費	泉公民館経常管理費	簡易	48
生涯学習課	生涯学習の推進	6272	公民館管理費	羽出公民館経常管理費	簡易	49
生涯学習課	生涯学習の推進	6274	公民館管理費	奥津公民館経常管理費	簡易	50
生涯学習課	生涯学習の推進	6275	公民館管理費	奥津公民館臨時管理費	簡易	51
生涯学習課	生涯学習の推進	6276	公民館管理費	上齋原公民館経常管理費	簡易	52
生涯学習課	生涯学習の推進	6278	公民館管理費	富公民館経常管理費	簡易	53
生涯学習課	生涯学習の推進	6341	社会教育施設管理費	社会教育施設臨時管理費	簡易	54
生涯学習課	生涯学習の推進	6350	社会教育施設管理費	ベスタロッジ館経常管理費	簡易	55
生涯学習課	生涯学習の推進	6353	社会教育施設管理費	図書館経常管理費	簡易	56
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6355	社会教育施設管理費	郷土博物館経常管理費	簡易	57
生涯学習課	生涯学習の推進	6357	社会教育施設管理費	ほたる館経常管理費	簡易	58
生涯学習課	人権尊重と人権意識の高揚	6359	社会教育施設管理費	教育集会所経常管理費	簡易	59
生涯学習課	生涯学習の推進	6361	社会教育施設管理費	コミュニティハウス経常管理費	簡易	60
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6363	社会教育施設管理費	奥津歴史資料館経常管理費	簡易	61
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6365	社会教育施設管理費	文化資源保存伝習館経常管理費	簡易	62
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6367	社会教育施設管理費	鏡野町郷土館経常管理費	簡易	63
生涯学習課	生涯学習の推進	6369	社会教育施設管理費	上齋原文化センター経常管理費	簡易	64
生涯学習課	生涯学習の推進	6370	社会教育施設管理費	上齋原文化センター臨時管理費	簡易	65
生涯学習課	生涯学習の推進	6371	社会教育施設管理費	富教育歴史資料館経常管理費	簡易	66
生涯学習課	生涯学習の推進	6375	社会教育施設管理費	生活改善センター経常管理費	簡易	67
生涯学習課	生涯学習の推進	6377	社会教育施設管理費	木工陶芸館経常管理費	簡易	68
生涯学習課	生涯学習の推進	6392	社会教育施設整備事業費	図書館図書購入費	総合	69-70
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6399	社会教育施設整備事業費	鏡野町多目的公園整備事業費	総合	71-72
生涯学習課	生涯学習の推進	6400	社会教育施設整備事業費	資料保管庫整備事業	簡易	73
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6401	社会教育施設整備事業費	鏡野町多目的公園経常管理費	簡易	74
生涯学習課	生涯学習の推進	6421	社会教育施設解体事業費	鏡野歴史資料館解体事業費	簡易	75
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6451	文化財保護管理費	文化財保護経常管理費	簡易	76
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6452	文化財保護管理費	文化財保護臨時管理費	簡易	77
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6469	文化財保護事業費	特別天然記念物緊急調査事業	総合	78-79
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6493	無形民俗文化財補助金	無形民俗文化財補助金	総合	80-81
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6552	保健体育総務管理費	保健体育総務経常管理費	簡易	82
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6565	各種団体補助金	鏡野町スポーツ協会補助金	総合	83-84
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6566	各種団体補助金	スポーツ少年団補助金	総合	85-86
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6570	かがみのマラソン大会事業費	かがみのマラソン大会事業費	総合	87-88

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6573	各種スポーツ大会事業費	各種スポーツ大会事業費	総合	89-90
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6601	体育施設管理費	体育施設共通臨時管理費	簡易	91
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6602	体育施設管理費	鏡野地区体育施設経常管理費	簡易	92
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6610	体育施設管理費	鏡野多目的屋内運動場臨時管理費	簡易	93
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6614	体育施設管理費	B & G 海洋センター臨時管理費	簡易	94
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6616	体育施設管理費	奥津運動公園臨時管理費	簡易	95
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6618	体育施設管理費	奥津町民体育館臨時管理費	簡易	96
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6625	体育施設管理費	富運動公園経常管理費	簡易	97
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6627	体育施設管理費	上齋原地区体育施設経常管理費	簡易	98
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6628	体育施設管理費	奥津地区体育施設経常管理費	簡易	99
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6629	体育施設管理費	塚谷公園経常管理費	簡易	100
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6631	体育施設管理費	健康づくり公園経常管理費	簡易	101
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6633	体育施設管理費	国民柔剣道場臨時管理費	簡易	102

事業番号	事務事業名	社会教育総務経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05922	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	渡邊 英紀
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	社会教育等事業に関する経費、美作地区社会教育委員連絡協議会負担金等の負担金を支払う事業	町内市町村の社会教育関係の研修と情報交換のために各種協議会が設置された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習団体	ア 公民館等活動団体数	団体	見込 実績	196 196	196 196	196 196	196	196
イ 社会教育主事等の職員	イ 社会教育関係等の職員	人	見込 実績	2 2	2 2	2 3	2	2

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 学習活動の参考にしてもらう	ア 資質向上対象職員	人	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 3 150.0%	2	2
イ 職員の資質の向上	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 研修会・会議等への出席	ア 会議等の出席回数	回	目標 実績 達成率	4 4 100.0%	5 4 80.0%	5 3 60.0%	5	5
イ 負担金の支払い	イ 負担金支払い事務	件	目標 実績 達成率	10 10 100.0%	10 10 100.0%	10 10 100.0%	10	10

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 10 教育費		06 項 06 社会教育費		01 目 01 社会教育総務費		01 03 社会教育総務経常管理費					05922
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財	506	429				-429	
一般財源	12,395	10,411	10,506	11,949	11,949	95	一般財源	11,099	9,255	10,095	11,949	11,949	840	
合計	12,395	10,411	10,506	11,949	11,949	95	合計(A)	11,605	9,684	10,095	11,949	11,949	411	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20		
							人件費計(千円)(B)	68	67	67	67	67	-1	
	最終予算額		10,506 千円		予算執行率		96.0%	トータルコスト(A+B)		11,673	9,751	10,162	12,016	12,016

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	社会教育等事業に関する経費は行政が行うことで抑えられ、美作地区社会教育委員連絡協議会負担金等の負担をしており予算等の削減余地はない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原地域高校生教育支援補助金	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05926	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	片田 知宏
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	上齋原地域高校生教育支援補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町の高校生通学助成金支給制度を補完するため、上齋原財産区住民を対象に、申請により上齋原地域高校生教育支援補助金を交付。 ・交付額は、通学費用で公共交通(路線バス定期券)利用の場合の費用を基準に、通学形態を問わず、在籍高校生1人1か月当たり1万円。	・上齋原財産区特別会計からの一般会計への繰出金を財源にしており、同財産区住民への福祉の一環としての目的達成のため、負担の大きい高校生の通学等費用の補助を、保護者一同からの補助制度創設要望をきっかけに、制度を整備し令和4年度に開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 上齋原地域高校生	ア 上齋原地域高校生在籍数	人	見込 実績	0 0	11 11	7 7	7	7
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地域の高校生に健全に通学してもらう	ア 補助対象者の数	人	目標 実績 達成率	0 0 -	11 11 100.0%	7 7 100.0%	7	7
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 補助金申請の受付	ア 補助金申請数	件	目標 実績 達成率	0 0 -	11 11 100.0%	7 7 100.0%	7	7
イ 補助金の交付	イ 補助金交付数	件	目標 実績 達成率	0 0 -	11 11 100.0%	7 7 100.0%	7	7
ウ	ウ		目標 実績 達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		01	07	上齋原地域高校生教育支援補助金					05926
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源		1,320	840	108	108	-480	一般財源		1,320	840	840	840	-480			
合計		1,320	840	108	108	-480	合計(A)		1,320	840	840	840	-480			
財源名称							従事正職員人数		1	1	1	1				
							延べ業務事務時間		20	20	20	20				
							人件費計(千円)(B)		67	67	67	67	-1			
	最終予算額	840 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)				1,387	907	907	907	-481			

1枚目

事業番号	05926	事務事業名	上齋原地域高校生教育支援補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
開始は前年度であるが、すでに対象・成果指標である高校生は著しい減少傾向となっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
事業周知に留意している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
地域が主な高校立地の津山市から僻遠のため、通学費用の過大な負担の支援として、保護者から感謝の声が大きい。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 町の高校生通学助成金制度を補完している。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 町の高校生通学助成金制度を補完している。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 対象・意図は明確であり、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 目的水準に達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 地域の保護者の経済的負担が増大し、大きな影響がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 最低限の事務負担量で実施している。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 補助金は、通学の交通費を基準にして妥当な補助額(事業費)と考えられる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 最低限の事務負担量で実施している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 把握した対象者全体に案内し、また別途地域回覧等を実施している。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	・事業は令和4年度に開始されたばかりであるが、地域の青少年の減少は著しく、事業開始が遅きに失しているくらいがある。しかし、現在及び今後の地域高校生の通学支援の経済的な大きな支えになっている。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <p>・事業的には現状維持が妥当であるが、今後とも対象者(地域の高校生の在籍者)確認等に留意する必要がある。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																							
・対象者の適切な確認方法。																							

事業番号	事務事業名	人権教育市町村サポート事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05930	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	17	人権尊重と人権意識の高揚	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	人権教育交流活動事業(教育集会所事業)・社会教育関係団体人権教育研修事業(保・幼・小中学校児童生徒・PTA人権研修)に対し実施希望調査を行い、実施校・実施事業数を確定する。 補助申請、実施報告書を取りまとめ、謝金等の支払、実績報告書の作成など。	保・幼・小・中学校から成人まで人権教育の総合的な推進を図り、人権が尊重された地域社会の実現を目指すため県補助事業として事業実施。 平成21年度から県補助がなくなり町独自で行っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	町民	→	ア	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
					実績	12,497	12,358	12,116		
イ		→	イ		見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	人権意識を高め、他人を思いやり、よりよく成長しようとする態度の形成を図る	→	ア	回	目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0		
					達成率	-	-	-		
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	人権教育交流活動事業	→	ア	回	目標	35	35	35	35	35
					実績	31	31	34		
					達成率	88.6%	88.6%	97.1%		97.1%
イ	保・幼・小中学校の人権教育研修	→	イ	回	目標	13	11	11	11	11
					実績	3	6	3		
					達成率	23.1%	54.5%	27.3%		27.3%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 人権への意識を高め、人権を尊重した行動をしてもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		02	01	人権教育市町村サポート事業費					05930
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	313	313	293	270	270	-20	一般財源	170	150	169	270	270	19			
合計	313	313	293	270	270	-20	合計(A)	170	150	169	270	270	19			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	17	17	17	17	17				
							人件費計(千円)(B)	58	57	57	57	57	-0			
	最終予算額	293 千円	予算執行率	57.6%	トータルコスト(A+B)		228	207	226	327	327	19				

事業番号	05930	事務事業名	人権教育市町村サポート事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	----------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
「人権の世紀21おかやま」推進事業の一環であり、補助事業であったが、平成21年度から廃止となり現在は町費で行っている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
教育集会所の生涯学習自主講座は、地区ごとに講座開催にばらつきがあり(講師不在など)、公平を保つために補助回数などを考慮している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
保・幼・小中学校からは毎年多数の実施希望の声があるが、コロナ禍の影響により実施が控えられている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	人権教育啓発活動として政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	保・幼・小中学校への人権教育啓発活動として必要な事業である。人権問題解消のため教育集会所の交流活動は必要である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	町内全保・幼・小中学校で実施されることが望ましい。地区集会活動は、人権問題解消のため必要であるが、自主活動がない地区もあり、活動を検討する必要がある。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	保・幼・小中学校への人権教育として、対象児童生徒に適した講座が行われている。人権問題解消のため教育集会所の交流活動は必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	他に類似の事業がなく、保・幼・小中学校関係ではこの事業の統廃合は人権教育の廃止にもつなげるため継続することが望ましい。教育集会所の事業は規模を縮小しても、自主開催は不可能ではない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	保・幼・小中学校への人権教育として、対象児童生徒に適した講座が行われている。人権問題解消のため教育集会所の交流活動は自主講座を継続して改善の余地がない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	講師謝礼などについて上限を定めており、削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	兼務で事務を行っており、講師選定・日程調整などは保・幼・小中学校で行っているため削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	生涯学習自主活動は、教育集会所のある地区でも公民館主催事業あるいは自主公民館活動で行われており、それに包括統合することも可能と思われるが、同和対策事業の継続事業としての位置づけもあり、すぐにはできない。しかし、今後対象者の高齢化・減少が進めば廃止も検討すべきである。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	保・幼・小中学校での人権教育は必要であり、事業実施は適切である。教育集会所自主活動は、後継者不足により活動ができない地区もある。また、コロナ禍の影響により、講座や自主活動を控えている状況が見られる。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 保・幼・小中学校での人権教育は現状維持。 教育集会所の人権交流活動は、集会所ごとの均質化を図る必要がある。 公民館活動への包括・統合も機会があることに推進を図るべきである。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
同和問題についての明確な施策の展開。各教育集会所の後継者不足問題。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	人権教育推進費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05931	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	17	人権尊重と人権意識の高揚	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	人権教育推進委員会総会及び理事会を開催し、報酬を支払う。 総合福祉課と協力して人権問題講演会を開催する。	昭和56年より、あらゆる偏見や差別を許さず、それらの解消に努める知識を身につけた人間性豊かな町民の育成を図る。人権教育を推進するために組織している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,500	11,800	11,627	11,455	
			実績	12,497	12,358	12,166		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民の人権意識の向上	ア 人権問題講演会参加者数	人	目標	70	70	70	80	
			実績	0	80	83		
			達成率	0.0%	114.3%	118.6%		
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 総会及び理事会の開催	ア 総会及び理事会開催数	回	目標	1	1	1	1	
			実績	1	0	1		
			達成率	100.0%	0.0%	100.0%		
イ 講演会の開催(保健福祉課と共同)	イ 人権問題講演会開催数	回	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 人権への意識を高め、人権を尊重した行動をしてもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		中事業 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		02		人権教育推進費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金						県支出金										
町債						町債										
その他特財						その他特財										
一般財源	88	88	88	85	85	一般財源	85	9	51	85	85	42				
合計	88	88	88	85	85	合計(A)	85	9	51	85	85	42				
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	40	45	45	45	45				
							人件費計(千円)(B)	137	151	150	150	150	-1			
	最終予算額		88 千円		予算執行率		57.9%		トータルコスト(A+B)		222	160	201	235	235	41

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	他機関と連携し人権講演会を開催することにより、参加人数の増加ができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	おかやま子ども応援事業費			所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05940	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名	担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	33	青少年の健全育成			根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	おかやま子ども応援事業として下記2分野に取り組んでいる ①学校支援地域本部・・・学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子育てをする体制を構築し、地域住民が学校を支援する(授業、環境整備、見守りボランティアなど) ②放課後子ども教室事業・・・すべての子供を対象に、地域の方々の参画を得て、放課後に学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会(居場所)を提供する	平成22年度から国及び県の補助事業「放課後子どもプラン推進事業(平成23年度から「おかやま子ども応援事業」)として実施。 おかやま子ども応援事業のうち、学校支援地域本部事業を平成25年度より開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 小学校児童	→ 小学校児童数	人	見込	660	660	660	660	650
イ	→		実績	658	624	616		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 学校の教育活動を支援する	→ 学校支援地域本部事業参加校	校	目標	7	7	5	5	6
			実績	7	7	5		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		83.3%
イ 子どもの社会教育活動を支援する	→ 放課後子ども教室延べ参加者数	人	目標	250	250	280	280	280
			実績	195	336	360		
			達成率	78.0%	134.4%	128.6%		128.6%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア おかやま子ども応援事業補助金	→ 補助金交付決定回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	→		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	→		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の未成年者・地域住民	ア 心豊かにたくましく育ってもらう
イ	イ 健全な育成を図る
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業 中事業 04 01	予算上の事業名					事業番号 05940
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費			おかやま子ども応援事業費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金	240	220	220				県支出金	240	220	204			-16		
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	763	1,113	1,121			8	一般財源	529	674	895			221		
合計	1,003	1,333	1,341			8	合計(A)	769	894	1,099			205		
財源名称	おかやま子ども応援事業費補助金						従事正職員人数		2	2	2	2	2		
							延べ業務事務時間		200	200	200	200	200		
							人件費計(千円)(B)		684	672	667	667	667		
	最終予算額		1,341 千円		予算執行率		81.9%		トータルコスト(A+B)		1,453	1,566	1,766	200	

事業番号	05940	事務事業名	おかもや子ども応援事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルスの影響も緩和され、活動が再開されてきている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
実際行っている学校サイドからは特に声は届いていない。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 子どもたちの経験値を上げていくという面で政策体系と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 県事業である点から、町が行うことは妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 学校や公民館事業であるため、妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 学校の授業の進め方にもよるが、効果的な利用ができれば成果を向上させることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 事業を継続して行うことが必要である。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 現時点では向上は見込めない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 現時点では削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 事業の運営としてはコスト削減を行って実施しているためこれ以上は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 各学校において実施しているため公平・公正となっている。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	昨年よりも、てコロナウイルスの影響は少なくなり、かなり活動が再開できた。さらに効果的な活用ができるように検討が必要。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 現状維持で行いたい。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
特になし。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	二十歳を祝う会開催事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05945	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	33 青少年の健全育成	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・毎年1月の成人の日の前の日曜日に、町内の新成人が中央公民館に一堂に会し、成人式を開催する ・OPコンサート、記念式典、記念写真、茶話会など ・企画立案、対象者・来賓案内、記念品手配、会場準備、式典進行	「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」という趣旨で1946年から埼玉県内の町において実施された「青年祭」をルーツとし、鏡野町においても同様に実施している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内在住の新成人	ア 新成人数	人	見込	100	100	100	100	100
			実績	86	249	129		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 晴れの門出を町全体で祝う	ア 式典出席者数	人	目標	100	100	100	100	100
			実績	78	160	81		
			達成率	78.0%	160.0%	81.0%		81.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 対象者、来賓案内	ア 案内状送付件数	通	目標	120	120	120	120	120
			実績	129	282	142		
			達成率	107.5%	235.0%	118.3%		118.3%
イ オープニングコンサート等の企画立案	イ 打ち合わせ回数	回	目標	2	2	2	2	2
			実績	0	5	5		
			達成率	0.0%	250.0%	250.0%		250.0%
ウ 式典の開催、進行	ウ 開催回数	回	目標	1	2	1	1	1
			実績	1	2	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の未成年者・地域住民	ア 心豊かにたくましく育ててもらおう
イ	イ 健全な育成を図る
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大 05	中 01	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費				二十歳を祝う会開催事業費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	05945		
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	589	760	656			-104	一般財源	415	752	628			-124			
合計	589	760	656			-104	合計(A)	415	752	628			-124			
財源名称							従事正職員人数	15	15	10			-5			
							延べ業務事務時間	200	400	20,000			19,600			
							人件費計(千円)(B)	684	1,345	66,700			65,355			
	最終予算額	656 千円		予算執行率	95.7%		トータルコスト(A+B)	1,099	2,097	67,328			65,231			

1枚目

事業番号	05945	事務事業名	二十歳を祝う会開催事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
対象者からの要望に応え、式典開始時間を30分間遅らせて執り行った。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
オープニングイベントについて例年音楽系の内容だったが、華やかさや式典への舞台転換のし易さ等からダンスに変更をした。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
女性に関しては着付け等に時間を要する為、式典開始時間を遅くしてほしいとの意見が数件寄せられた。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	次代を担う人材が社会人として自覚する節目の行事であり、今後の住民のまちづくりに結びつく。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	成人式は町主体及び国主体の行事と認識されている。また、社会人としての認識を持つて自己の将来づくり、鏡野町の町・地域づくりに取り組んでほしいとの意図もあり、町の行事として妥当と思われる一方で、開催時期や周知方法、式典内容等細かな要望等も多く、実行委員会を設立することも手法の一つではないかと思われる。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	鏡野町に住所を有する新成人を対象にしているが、就職、就学等で町に住んでいなくても希望があれば参加可能である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	成果を指数で表すのが困難である。成人式実行委員会の設置は検討課題である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	国民の行事となっており子ども・孫の晴れ姿を楽しみにしている親族・地域住民が多数いる。また、社会人としての認識を持つ数少ない機会であり、廃止すると影響がある。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	対象の新成人の中から実行委員を募集し、企画段階から新成人が主体として参加することで晴れの舞台にふさわしく、記憶に残る催しができる可能性がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	式典の司会運営から記念写真等の撮影まで全て職員が行っており、最大限経費削減に努めている。これ以上削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	対象の新成人の中から実行委員を募り、参加させることで職員の業務時間が減る可能性はある。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	対象者には漏れが無いように案内通知を出し、鏡野町に住所がない方へは広報誌及びHPで参加を呼び掛けている。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	成果指標での評価が難しいため、アンケートや聞き取り調査が必要である。長年の継続事業(行事)になっており、今後も継続していく必要がある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 新成人が主体となり実行委員として活動することで自ら主体となって取り組み、成人の節目として思い入れの深い式典にすることができるのではないかと考えるが、進学、就職で他県、他町村に出る成人が多い中で実行委員ができるかどうか課題である。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
成人式実行委員会を組織する上での委員の選出(募集)方法、人数、時期、回数などが考えられる。																									

事業番号	事務事業名	社会教育学級開設費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05950	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	中央公民館主催講座の運営 ・実施計画作成 ・講師依頼 ・募集要項、チラシ作成 ・申込み受け ・受講決定書送付 ・受講料調定 講師謝金支払・修了証書授与	平成5年度に実施された初級ワープロ講座が初めての主催講座。現在もパソコン講座として継続されている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内住民	ア 町内人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,600	11,280
			実績	12,497	12,351	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習活動を実施してもらう	ア 主催講座の数	講座	目標	15	15	15	15	15
			実績	15	15	17		
			達成率	100.0%	100.0%	113.3%		113.3%
イ	イ 主催講座の参加者数	人	目標	500	300	300	300	300
			実績	283	250	218		
			達成率	56.6%	83.3%	72.7%		72.7%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 広報・募集	ア 広報回数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績	3	4	6		
			達成率	100.0%	133.3%	200.0%		200.0%
イ 講師打合せ	イ 打合せ回数	回	目標	15	15	15	15	15
			実績	15	15	15		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大 01	中 01	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費				社会教育学級開設費					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財	960	802	802				その他特財	282	429	609			180			
一般財源	140	1,146	1,022			-124	一般財源	583	1,101	1,182			81			
合計	1,100	1,948	1,824			-124	合計(A)	865	1,530	1,791			261			
財源名称	生涯学習推進基金繰入金						従事正職員人数		2	2	2					
	社会教育学級受講料						延べ業務事務時間		150	150	150					
							人件費計(千円)(B)		513	504	500		-4			
	最終予算額		1,824 千円		予算執行率		98.1%		トータルコスト(A+B)		1,378	2,034	2,291	257		

事業番号	05950	事務事業名	社会教育学級開設費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
学習ニーズが変化しており、以前は人気だった講座へも申込が少ない状況が生じている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
適宜、講座受講生へアンケートを実施してニーズ把握に務めている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
子供向けの講座の開催を増加してほしいとの要望が寄せられている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 町民の学習ニーズを把握したうえで様々な種類の講座を企画し学習機会を提供している。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 子供や若者には生涯学習をはじめるきっかけになり、高齢者には同じ趣味や学習のコミュニティづくりになる為、公共関与の妥当性がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 全ての世代の町民が生涯学習に参加するきっかけとして公民館講座を実施するものであり、対象・意図共に妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 町民の学習ニーズに応じた講座を複数開設している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 廃止・休止した場合、住民の社会教育へ参加する機会や生涯学習活動の機会が失われる。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 他の部署と連携して講座を開設すれば、受講者層の間口を広げることができる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 3年以上経過した主催講座で、受講生の確保ができるものについては、講師謝金を受講生が負担し、自主運営する自主講座へ転換するよう推奨している。ただし、公民館使用料は無料。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 1つの講座開設においても準備、打合せ、申込受付、その他調整等処理するものが多く、これ以上の削減は不可能と考える。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 幅広い年齢層を対象とした講座を実施している。また、講座案内・申込書を広報誌へ折り込み、全世帯へ配布しており、公平である。また、受講料も徴収をしている。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	青年層の参加が少ない。若者の学習ニーズの把握が必要かと考える。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 世代毎の学習ニーズ把握を行い、ニーズに応じた講座開設が必要。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
仕事、家事共に多忙な世代である青年層の学習ニーズ把握について検討研究したい。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	かがみのっ子表彰事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05965	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者
	施策名	33	青少年の健全育成	根拠法令等	かがみのっ子表彰に関する条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①被表彰者の氏名・居住地区の抽出 ②担当区長の調査 ③被表彰者が居住する地区の区長に被受賞者がいることを通知 ④区長に賞の推薦依頼 ⑤選考委員会(被表彰者全員の賞を決める) ⑥表彰式(新型コロナウイルス感染症拡大予防ため各小学校訪問)	平成6年度からベストロッチ賞表彰事業が開始される。翌年総合計画が策定され、「日本のベストロッチタウン 鏡野」のキャッチフレーズのもと、小中学生を対象に知・徳・体の調和の取れた人間形成や青少年健全育成事業に全町あげて取り組む。合併後は、かがみのっ子賞表彰事業として事業を継続する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内小学校6年生児童	ア 町内小学校6年生児童数	人	見込	120	100	94	94	94
			実績	124	97	97		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 児童の個性をのばす	ア 表彰式への参加人数	人	目標	60	97	90	90	90
			実績	120	93	97		
			達成率	200.0%	95.9%	107.8%		107.8%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 表彰式	ア 表彰式の回数	回	目標	1	7	5	5	5
			実績	7	7	6		
			達成率	700.0%	100.0%	120.0%		120.0%
イ 地域の人に子どもの成長を見守ってもらう	イ 推薦の取りまとめ数	件	目標	120	97	94	94	94
			実績	124	97	97		
			達成率	103.3%	100.0%	103.2%		103.2%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の未成年者・地域住民	ア 心豊かにたくましく育てもらう
イ	イ 健全な育成を図る
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		08	01	かがみのっ子表彰事業費					05965
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	237	80	179			99	一般財源	96	75	99			24			
合計	237	80	179			99	合計(A)	96	75	99			24			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1						
							延べ業務事務時間	330	330	400			70			
							人件費計(千円)(B)	1,129	1,109	1,334			225			
	最終予算額	179 千円	予算執行率	55.3%	トータルコスト(A+B)		1,225	1,184	1,433				249			

1枚目

事業番号	05965	事務事業名	かがみのつ子表彰事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
学校統合や個人情報の保護等の影響により、地域の人々が地区の子供達を知る機会が薄れ、地域からの推薦という本来の趣旨に沿えない状態である。また、現在は全員が集まった表彰式ではなく、各小学校(6校)に訪問し学校単位で表彰式を行う形式に変えた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
事業実施後のアンケートをもとに、これまで一堂に集めて行っていた表彰式を学校ごとに行うこととした。また、町外の学校へ通う児童(誕生寺支援学校)でも表彰式を実施することができた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
対象児童の把握が難しい地区もあり、区長推薦の必要性について問われている。児童からは事業に対して好意的な意見も多い。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 対象児童へ行ったアンケートでは、表彰してもらって嬉しかった、励みになったなど好意的な意見が多く、子どもたちの自信とやる気を起こすきっかけとなっており、政策体系と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 地域全体で子どもを見守り育てる事業であり、町の関与は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 対象を広げると今以上に子どもの把握が難しくなるため妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 各小学校を訪問し表彰式を行ったため、全員が出席し賞状を渡すことができた。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 他に類似の事業がない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 形骸化している推薦方法の見直しを図れば、本来の趣旨に近い事業を実施できる可能性がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 需用費及び役員費は最低限で支出している。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 事務作業に労力と時間がかかっている。しかし、多くの個人情報等があり民間委託は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町内の小学6年生全員を対象としており公平である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くが保護者からの推薦のため、地域からの推薦という事業本来の趣旨にそえていない。</li> <li>・区長による対象児童の把握が難しい場合がある。</li> <li>・今年度も小学校を訪問して表彰式を行ったため、ほぼ全員の対象児童が式に参加することができた。また、他学年の児童が事業を認識する機会となった。</li> <li>・一堂に会しての表彰式を行っていた当時は参加できなかった誕生寺支援学校の児童にも表彰式に参加してもらうことができた。</li> </ul>																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・形骸化した推薦方法を見直す。</li> <li>・表彰の方法を検討する。</li> <li>・事務作業の効率化・簡略化を図る。</li> </ul>																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
子どもと地域の大人との交流の場を増やすことで、地域の方に子どもの存在を知ってもらおう。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	子育て学習推進事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05970	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	33 青少年の健全育成	根拠法令等	社会教育法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・各学校等へ実施希望調査。実施校、実施教室の確定。実施報告書の取りまとめ。講師謝金等の支払い	・子ども達の健やかな成長を支援するために、家庭や地域での子育てに関する知識及び理解を深めることを目的に開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内の保、幼、小中学校の生徒	ア 町内の保、幼、小中学校の生徒	人	見込	1,550	1,520	1,520	1,520	1,300
			実績	1,412	1,413	1,282		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 啓発活動を行い、健やかな成長を支援する	ア 啓発できた生徒数	人	目標	400	400	400	400	600
			実績	462	435	657		
			達成率	115.5%	108.8%	164.3%		109.5%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 事業の実施計画書の提出依頼、取りまとめ	ア 講座の開催回数		目標	13	13	13	13	13
			実績	5	8	10		
			達成率	38.5%	61.5%	76.9%		76.9%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の未成年者・地域住民	ア 心豊かにたくましく育ってもらう
イ	イ 健全な育成を図る
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 01 社会教育総務費		予算上の事業名					事業番号
	09 01		子育て学習推進事業費					05970						
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	290	200	140	150	150	-60	一般財源	100	100	130	150	150	30	
合計	290	200	140	150	150	-60	合計(A)	100	100	130	150	150	30	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	28	28	28	28	28		
							人件費計(千円)(B)	96	94	93	93	93	-1	
最終予算額		140 千円		予算執行率	92.8%		トータルコスト(A+B)	196	194	223	243	243	29	

1枚目

事業番号	05970	事務事業名	子育て学習推進事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルスによる影響も緩和され、実施数が増加してきている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
子育て学習の一環として大変有意義であるという情報を先生から得ている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 子育て学習の一環として町の政策体系と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 子育て学習の一環として町が実施するべきである。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 現状のやり方で見直す余地はない。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 現状のやり方で目標水準に達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 継続した子育て学習を行うべきである。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 現状のやり方で改善の余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 講師への報償費のみの事業なので、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 現状の職員の業務体制で問題ないため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 学校へ希望をとり、実施しているため公平である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルスの影響も緩和され、実施できた学校が増加してきた。 今後はZOOM等を利用した研修も取り入れたり、少人数での開催も検討すべきである。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 特になし。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
特になし。																									

事業番号	事務事業名	シニアスクール推進事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05975	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	おおむね65歳以上の町民が中央公民館にて月1回、国語、社会、保健体育、図工、美術、押し花等の科目を学習する。主な事務としては①カリキュラム作成、②講師の手配、③受講生募集、④その他連絡調整等がある。	鏡野中学校都合により受入不可となったシニアスクールの代替として令和5年度より新たに実施したものの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	65歳以上の自力通学可能な町民	ア	65歳以上の町民人口	人	見込			5,000	5,000	5,000
					実績			4,733		
イ		イ		人	見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	高齢者の学習意欲の向上	ア	受講者数	人	目標			20	20	20
					実績			19		
					達成率			95.0%		95.0%
イ		イ		人	目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	カリキュラムの作成	ア	カリキュラムの作成件数	回	目標			1	1	1
					実績			1		
					達成率			100.0%		100.0%
イ	講師の手配	イ	手配した講師の人数(実人数)	人	目標			12	15	15
					実績			12		
					達成率			100.0%		80.0%
ウ		ウ		人	目標					
					実績					
					達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 01 社会教育総務費		予算上の事業名					事業番号
	01		10		06		01		シニアスクール推進事業費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	46		45	45	45	その他特財								
一般財源			183	183	183	一般財源	28		182	182	182	182		
合計	46		228	228	228	合計(A)	28		182	182	182	182		
財源名称	生涯学習課基金繰入金					従事正職員人数		1	1	2		1		
	シニアスクール受講料					延べ業務事務時間		30		30		30		
						人件費計(千円)(B)		103		100		100		
	最終予算額		228 千円	予算執行率		79.8%	トータルコスト(A+B)		131	282	182	182	282	

事業番号	05975	事務事業名	シニアスクール推進事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
鏡野中学校から今後のシニアスクール受入について不可能との回答があり、今年度より中央公民館にて開設した。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
中央公民館での開設となり他利用団体の貸館等もあるため、月1回の開催となっている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
受講生からは、もっといろんなジャンルの勉強がしたい、月1回では少ない等の意見があった。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 概ね65歳以上の住民を対象とした事業で、抽選での申込形式をとり、平等に生涯学習の機会を提供しており、政策体系の生涯学習の推進に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> シニア世代の学びの場を提供していくことは生涯学習の推進にも繋がる為、町が実施していくことの妥当性は適当と考える。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> シニア世代の学びの場を提供していくことは生涯学習の推進にも繋がる為、適切であると考えている。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 受講生も定員近くまで申込があり、目的水準には達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 廃止した場合、高齢者の学びの場を提供出来ない等の影響が生じてくる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 今後も中央公民館を会場として実施していくうえでは、現状維持で良いと考える。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 公民館にあるものを使用して、節約しながら実施している為、これ以上の経費削減の余地はないと考える。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 職員が対応する場面が多く、これ以上の削減は不可能と考える。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町内全域に広報で募集をかけており、公平・公正に対応できている。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	講師について高齢化が進んでいたため、今年度より数名新しい講師にお越しいただいている。今後も新たな人材を発掘していく必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 特になし	<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
特になし		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	苦田郡PTA連合会補助金	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05980	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町補助金交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町PTA協議会への補助金交付事務	平成17年の合併により、苦田郡PTA連合会を解散して、鏡野町PTA協議会を設立。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鏡野町PTA協議会	ア PTA会員数	人	見込	1,000	950	950	950	950
			実績	907	890	745		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア PTA活動を活発にする	ア PTA活動回数	回	目標	20	20	20	20	20
			実績	9	15	18		
			達成率	45.0%	75.0%	90.0%		90.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 補助金交付	ア 補助金交付回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業		中事業		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		11		01		苦田郡PTA連合会補助金			
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	250	250	200			-50	一般財源	250	250	200			-50			
合計	250	250	200			-50	合計(A)	250	250	200			-50			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1							
	延べ業務事務時間						8	8	8							
	人件費計(千円)(B)						27	27	27				-0			
	最終予算額 200 千円						予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		277	277	227	-50		

1枚目

事業番号	05980	事務事業名	苫田郡PTA連合会補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
会員は減っているが、研修会を実施するなど活動は活発である。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
協議会は厳正に運営されている上、補助金交付事務は短時間で処理できるので、改善改革の必要はない。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
過疎化・少子化の進展によりPTA会員数は減少しているが、活発な活動を続けており、今後も補助を継続してほしいとの要望が寄せられている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	子ども達の健やかな成長のため、保護者と教職員を支援することは、生涯学習の推進や青少年の健全育成に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	義務教育下にある小中学校のPTAを支援することについて、公共関与は妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	町内の全小中学校が協議会へ加盟しており、PTAへの支援は妥当である。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	研修や自主活動等が行われている。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	研修の参加に支障が生じる。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	改善の必要性はない。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	支出の多くが研修費や研修参加の為に旅費であり、削減の余地はない。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	補助金交付事務は比較的短時間で処理が出来ており、これ以上の削減余地はない。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町内の全小中学校が協議会へ加盟している為、公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	補助金を活用して、自主的な活動が出来ている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 PTA活動の一層の進展を期待する。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

事業番号	事務事業名	鏡野町文化協会補助金	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05984	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町補助金交付規則・鏡野町文化協会規約		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①補助金交付事務 ②年1回総会を開催 ③各部での定期・不定期の活動・文化祭・文芸選奨などの事業を計画・実施 ④隔月に「鏡野文化」を発行 ⑤各年に「棕の葉」を発行	地域文化の継承を目的に、昭和44年創設。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 文化協会会員	ア 会員数	人	見込	340	320	320	320	320
			実績	323	283	299		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 文化活動を充実させる	ア 行事・会議等の実施回数	回	目標	10	10	10	10	10
			実績	5	15	16		
			達成率	50.0%	150.0%	160.0%		160.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 補助金の交付	ア 補助金の交付回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 総会・五月祭りの実施	イ 総会・五月祭りの実施回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	1		
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%		100.0%
ウ 文化祭の実施	ウ 文化祭の実施回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	1	1		
			達成率	0.0%	100.0%	100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		事業 11		中事業 05		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		鏡野町文化協会補助金		鏡野町文化協会補助金		05984		
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込		前年比	
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	450	450	450				一般財源	450	450	450					
合計	450	450	450				合計(A)	450	450	450			0		
財源名称	従事正職員人数						1	1	2					1	
	延べ業務事務時間						800	800	800						
	人件費計(千円)(B)						2,737	2,690	2,668					-22	
	最終予算額 450 千円						予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		3,187	3,140	3,118	-22	

1枚目

事業番号	05984	事務事業名	鏡野町文化協会補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
会員の高齢化が進み、会員が減少傾向にある。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
会員数を増加させる為に、文化協会広報誌面のレイアウト等を一新した。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
会員は日頃の活動の成果を発表する場として文化祭を楽しみにしており、その為に日々の制作や研究活動、練習に励んでいる。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	各部が自主的な活動をしており、生涯学習の推進に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	地域文化の発展に役立っており、町の関与は妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	文化協会へは、大人から子どもまで誰でも加入することが出来る為、対象も意図も妥当である。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	高齢化により会員数が減少傾向である為、会員増加の為に積極的な広報や魅力的な活動を実施する必要があると考える。その為、令和5年度より文化協会広報誌のレイアウト等を一新した。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	会員数の減少により会費だけでは協会運営が出来ない状態となっている為、補助事業が廃止された場合、文化協会としての活動が出来ない状況となる。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	会員に協会の自主運営していただく方法もあるが現実的ではないと考える。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	これ以上補助金を減額すると協会運営が出来なくなり、会費増額等の措置をとることになる。そうなれば会員のさらなる減少を誘発する可能性が高い。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	現状を考慮すると会員による協会の自主運営は不可能である。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	文化協会へは、大人から子どもまで誰でも加入することが出来る為、公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	会員の高齢化が進み、部員数の減少、部の休止等もあったが、新しい部の設立や休止している部の活動復帰等もあり徐々にではあるが活動の活性化がみられている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 文化祭以外での活動の場を増やし、コンクールや展覧会への出品、また施設等の慰問等を行い、また会報や鏡野文化等の誌面をリニューアルする等して文化協会の活動を周知し会員を増やす。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
会員の高齢化により活動範囲が狭まってきている為、活動形態を変えていくことも検討課題の一つと考える。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	鏡野町婦人協議会補助金	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05985	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町婦人協議会補助金		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町婦人協議会への補助金交付事務	明治・大正時代に行政指導により、全国的に婦人会がつくられ、戦後に組織が民主化された。平成17年に旧町村の婦人会を統合して、鏡野町婦人協議会が発足。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鏡野町婦人協議会	ア 会員数	名	見込	79	77	77	77	77
			実績	77	72	70		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 婦人協議会の活動を充実させる	ア 婦人協議会関係の事業への参加回数	回	目標	20	20	20	20	20
			実績	16	17	18		
			達成率	80.0%	85.0%	90.0%		90.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 補助金交付事務	ア 補助金交付回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		11	06	鏡野町婦人協議会補助金					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	05985		
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	500	500	400			-100	一般財源	500	500	400			-100			
合計	500	500	400			-100	合計(A)	500	500	400			-100			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1						
							延べ業務事務時間	25	25	25						
							人件費計(千円)(B)	86	84	83			-1			
	最終予算額	400 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		586	584	483				-101			

1枚目

事業番号	05985	事務事業名	鏡野町婦人協議会補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成17年の町婦人協議会発足時の会員203名が70名に減少。県婦人協議会を平成24年に脱退。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
合併当初、補助金減額の動きがあった。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
行政や議会関係者は、婦人協議会の活動に期待している。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 婦人協議会の活動支援は、生涯学習の推進と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 地域公共交通会議、有線テレビ放送番組審議会などに参加、協力しており公共関与の妥当性がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 会員の大半が子育てを終えた人や退職者で、年齢層に偏りがある。会員のいる地区も偏っている。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 若い層が参加すれば、活動の幅が広がる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 補助金交付をやめると活動が出来なくなる為、影響が生じる。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 補助金交付事務自体には、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 補助金交付事務だけであり、削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 補助金交付事務だけであり、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 鏡野町婦人協議会を構成しているのは、郷・上齋原・富地区の3つの婦人会である。これら以外の婦人会はすでに解散している。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	活動はそれぞれ行っているが、会員が高齢化しており、また、地域も偏っているため会員が減少し増加が見込めない。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 地域での啓蒙活動を行い、新規会員の獲得に努める。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
若い人にも受け入れられる婦人会の体制作りを継続して行っていく必要がある。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	青年団補助金	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
05988	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	33 青少年の健全育成	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・鏡野町青年団協議会に対して補助金を交付する ・補助金交付申請、補助金交付決定、請求、補助金交付、実績報告、補助金額の確定通知	平成17年の市町村合併で3町村にあった青年団(奥津、富、上齋原)を併せて、協議会を設立したことにより補助を開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鏡野町青年団協議会	ア 団員数	人	見込		80	80	80	
			実績		48	48		
イ			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 活動を通じて若者同士の交流を図ってもらう	ア イベント等での活動回数	回	目標		1	1	1	
			実績		1	1		
			達成率		100.0%	100.0%		
イ			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 補助金交付事務	ア 補助金交付件数		目標	1	1	1	1	
			実績	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%		
イ			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の未成年者・地域住民	ア 心豊かにたくましく育ってもらう
イ	イ 健全な育成を図る
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		青年団補助金					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	250	250	200		-50	一般財源								
合計	250	250	200		-50	合計(A)						0		
財源名称	従事正職員人数						1	1					-1	
	延べ業務事務時間													
	人件費計(千円)(B)												0	
	最終予算額	200 千円	予算執行率	0.0%	トータルコスト(A+B)								0	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	協議会全体での活動は町子連と協力した活動のみであったが、町子連が休会となり、全体での活動はなく、各地域団体での活動が主体である。よって協議会全体での活動が今後望まれる。また、団員数の減少、実動団員の固定化や、会員の高齢化が著しい。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	青少年健全育成協議会開催費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06015	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	33	青少年の健全育成	根拠法令等	鏡野町青少年健全育成協議会条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・鏡野町での青少年健全育成活動の推進。推進委員による啓発活動。 ・総会、研修会の開催。開催通知、出欠取りまとめ、講師選定、依頼、資料作成業務。 ・町内の小中学生及び保育園、幼稚園の保護者から「明るい家庭づくり」をテーマにした作文を募集。内容を審査し、優秀作品は県に応募する。応募者全員に記念品を贈る。	昭和45年度鏡野町での青少年健全育成推進協議会が設置された。 昭和45年家庭生活を振り返ることでそれぞれのかかわり、役割を認識し、子どもたちの健全な育成を願って始められた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	町内の保、幼、小、中学校の児童・生徒	→	ア	人	見込	1,400	1,413	1,400	1,300	1,300
					実績	1,412	1,409	1,345		
イ	活動推進員	→	イ	人	見込	29	29	29	29	29
					実績	29	29	29		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	家庭のあり方を再認識してもらう	→	ア	人	目標	800	700	650	600	600
					実績	667	605	501		
					達成率	83.4%	86.4%	77.1%		83.5%
イ	青少年健全育成活動を推進してもらう	→	イ	人	目標	29	29	29	29	29
					実績	29	29	29		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	総会・研修会の開催	→	ア	回	目標	2	2	2	2	2
					実績	1	2	2		
					達成率	50.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	講演会の開催	→	イ	人	目標	20	20	29	29	29
					実績	0	23	21		
					達成率	0.0%	115.0%	72.4%		72.4%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の未成年者・地域住民	ア	心豊かにたくましく育ってもらう
イ		イ	健全な育成を図る
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		青少年健全育成協議会開催費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	122	83	70	76	76	-13	一般財源	66	75	69	76	76	-6	
合計	122	83	70	76	76	-13	合計(A)	66	75	69	76	76	-6	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	50	50	50	50	50		
							人件費計(千円)(B)	171	168	167	167	167	-1	
	最終予算額		70 千円	予算執行率	98.5%	トータルコスト(A+B)		237	243	236	243	243	-7	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	・明るい家庭づくり作文について、町内の小中学校の児童、生徒及び保育園、幼稚園の保護者に周知している。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	生涯学習推進事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06020	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・生涯学習施設(ペスタロッツ館)を使って、乳幼児から高齢者までニーズに合わせた各種行事(コンサートやイベント等)を実施。 ・OKUTSU芸術祭への補助。	ペスタロッツ館の自主事業として開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に取り組むきっかけとしてもらう	ア ペスタロッツ館事業の参加者数	人	目標	200	100	400	0	0
			実績	197	97	205		
			達成率	98.5%	97.0%	51.3%		
イ	イ OKUTSU芸術祭への補助金交付	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 出演依頼	ア コンサート等開催日数	日	目標	2	2	5	0	0
			実績	2	2	4		
			達成率	100.0%	100.0%	80.0%		
イ チラシの作成	イ チラシの作成枚数	枚	目標	2,000	2,000	2,000	0	0
			実績	2,000	1000	2,150		
			達成率	100.0%	50.0%	107.5%		
ウ 補助金支払事務	ウ 補助金の支払先	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 01 社会教育総務費		大 16 中 01		予算上の事業名 生涯学習推進事業費			事業番号 06020
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	12		85			85	その他特財	16	10	66			56	
一般財源	628	770	985	500	500	215	一般財源	547	583	825	500	500	242	
合計	640	770	1,070	500	500	300	合計(A)	563	593	891	500	500	298	
財源名称	ペスタロッツ館イベント入場料						従事正職員人数	2	2	1	1	1	-1	
							延べ業務事務時間	450	200	500	6	6	300	
							人件費計(千円)(B)	1,539	672	1,668	20	20	995	
	最終予算額		1,070 千円	予算執行率	83.2%		トータルコスト(A+B)	2,102	1,265	2,559	520	520	1,293	

1枚目

事業番号	06020	事務事業名	生涯学習推進事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルス感染症拡大防止措置が緩和されたため、コンサートやクリスマスフェスタといった声を発する行事も開催した。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
コンサートやクリスマスフェスタに加えて、新たな行事としてグランドピアノ無料開放日を2回実施した。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
参加者からは概ね好評だった。以前から行っていたミュージックフェスティバルの開催を望む声がある。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 幅広い年代の生涯学習の場となっている。ペスタロッツ館の指定管理移行に伴い、令和6年度から行政による各種行事開催はなくなるが、OKUTSU芸術祭への補助は継続する。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 町の施設を利用して行政が実施することで経費が抑えられている。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 町民全体を対象にしており、妥当である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 様々な行事を開催しており、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 生涯学習の機会が失われる可能性がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 令和6年度以降はOKUTSU芸術祭への補助のみとなるため、改善の余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> ペスタロッツ館の指定管理移行により、令和6年度から行政による各種行事の開催が無くなるため、費用が削減される。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 最少人数で行っており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町民全体を対象にしており、妥当である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルス感染症拡大防止措置が緩和されたため、コンサートやクリスマスフェスタといった声を発する行事を開催したほか、新たな行事としてグランドピアノ無料開放日も実施した。 令和6年以降、行政によるペスタロッツ館での各種行事は開催しないが、OKUTSU芸術祭への補助は継続して行う必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 特になし																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下	○		
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下	○																							
特になし																									

事業番号	事務事業名	文芸選奨推進事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06030	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町補助金交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・募集要項決定 ・審査員依頼 ・募集要項印刷 ・募集要項配布  ・作品審査 ・作品集作成 ・表彰式	平成9年度に香々美川が「岡山の清流」に選ばれ、これを機に香々美川文芸選奨を始めた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内の小中学生	ア 町内の小中学生数	人	見込	972	967	967	960	960
			実績	971	967	840		
イ 町内の成人	イ 町内の成人数	人	見込	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800
			実績	10,461	10,514	8,310		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 青少年が文芸に興味を持つようになる	ア 万葉のみち青少年文芸選奨の応募者数	人	目標	480	480	480	480	480
			実績	491	559	442		
			達成率	102.3%	116.5%	92.1%		92.1%
イ 町民が文芸に興味を持つようになる	イ 香々美川文芸選奨の応募者数	人	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	115	132		
			達成率	100.0%	115.0%	132.0%		132.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 作品募集	ア 要項配布・広報回数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績	3	3	3		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 審査会	イ 審査会開催数	回	目標	2	2	2	2	2
			実績	2	2	2		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ 作品集作成	ウ 作品集配布冊数	冊	目標	400	300	300	200	200
			実績	305	305	200		
			達成率	76.3%	101.7%	66.7%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらおう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大 18		中 01		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		18		01		文芸選奨推進事業費		06030
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	120	100	100				その他特財	112	115	103				-12	
一般財源	607	637	763			126	一般財源	548	614	656				42	
合計	727	737	863			126	合計(A)	660	729	759				30	
財源名称	香々美川文芸選奨応募料					従事正職員人数		1	1	2				1	
						延べ業務事務時間		170	170	170					
						人件費計(千円)(B)		582	572	567				-5	
	最終予算額		863 千円	予算執行率	87.9%		トータルコスト(A+B)		1,242	1,301	1,326				25

1枚目

事業番号	06030	事務事業名	文芸選奨推進事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
多くの学校では夏休みの宿題に取り入れているが、教員の働き方改革により募集要項の配布、回収の協力が出来ない学校が増えてきた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
小中学校の国語の先生に指導をお願いしている。短歌・俳句・川柳の結社にお願いして募集要項を配布してもらっている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
町内の文芸愛好者は事業の継続を望んでいるが、教員の働き方改革により学校の協力が得られにくい状況になりつつある。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 生涯学習の推進と地域文化の継承に必要である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 創造豊かな教育と文化の里づくりのために、町民の誰もが参加できる事業としてふさわしい。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 小学生から高齢者まで、すべての年齢層を対象にしており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 万葉のみち青少年文芸選奨は小中学校の協力が必要。香々美川文芸選奨は町内の応募者が減少傾向。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 鏡野町は、短歌・俳句・川柳といった文芸の盛んな町であり、地域の文化的な特徴を若い世代に継承してもらおう働きかける唯一の事業である。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 若い世代の文芸愛好者を増やすこと。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 審査員報酬、賞金・副賞等についても他団体よりも安価で行っている為、これ以上の削減は難しい。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 香々美川・青少年万葉のみちの両方を合わせるとかなりの応募数となり、事務処理に膨大な時間と労力が必要である。これ以上の削減は不可能である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 香々美川文芸選奨の応募者からは、投句料も徴収しており公平である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	若い世代の文芸愛好者を増やすこと、特に町内在住者の方に積極的に投句していただけるような環境づくりが必要と感じている。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 香々美川文芸選奨の町内からの応募者を文化協会を通じて増やしていく。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

事業番号	事務事業名	子どものエンパワーメント育成事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06040	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	17	人権尊重と人権意識の高揚	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	エンパワーメントとは選択する権利・権限を与えることであり、小中学生及び保護者を対象に暴力・虐待・薬物乱用の防止を目的としたトレーニングや講演会を実施。各学校になどに実施希望調査を行い、事業を確定。事業実績報告書を取りまとめ、講師謝金等の支払い。	子どもが犯罪に巻き込まれる事件・事故の増加の背景から、県補助事業として開始された県補助事業終了後の平成21年度以降も町単独事業として継続実施している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 小中学生	ア 生徒・児童数	人	見込	655	967	967	967	967
			実績	658	967	945		
イ	イ	人	見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 児童・生徒・保護者によりよい成長する態度を形成してもらう	ア 児童・生徒・保護者の参加人数	人	目標	75	75	150	150	150
			実績	0	226	284		
			達成率	0.0%	301.3%	189.3%		189.3%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 薬物乱用防止・たばこの話講演会	ア 講演会実施回数	回	目標	2	2	2	2	2
			実績	2	6	3		
			達成率	100.0%	300.0%	150.0%		150.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 人権への意識を高め、人権を尊重した行動をしてもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		子どものエンパワーメント育成事業費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	40	150	60	60	60	-90	一般財源	40	60	60	60	60		
合計	40	150	60	60	60	-90	合計(A)	40	60	60	60	60		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	5	10	10	10	10		
							人件費計(千円)(B)	17	34	33	33	33		
	最終予算額	60 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		57	94	93	93	93	-0		

事業番号	06040	事務事業名	子どものエンパワーメント育成事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
子どもが犯罪に巻き込まれる事件・事故も増加しており、本町においても不審者情報も寄せられている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
県からの補助終了後も町費予算で実施しており、小学生については「暴力防止教育」を、中学生については「禁煙・薬物防止教育」を実施している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
中学校からは主に生徒からの感想を得ているが、心に残る講演であった旨の報告がなされている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	小中学校への人権教育啓蒙活動として必要な事業である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	小中学校への人権教育啓蒙活動として行政主導で行うことが望ましい。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	町内 全小中学校で実施することが望ましい。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	事業の重要性について共通認識が形成されていないので事業説明が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	他に類似事業はない。廃止すれば幼・保・小中学生及び保護者を対象とした暴力・虐待・薬物乱用防止教育が減少する。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	事業の重要性について説明を行い、事業実施を促す。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	講師謝金の上限を最低限に設定しており、削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	兼務で事業を行っているため、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町内全小中学校での実施であるため、公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	中学校の全学年で禁煙教室を実施した。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 CAPつやまの講座は廃止し、喫煙・薬物乱用防止教室のみを実施する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
CAPつやまの講座の希望が多数ある場合は、再度検討する。																									

事業番号	事務事業名	鏡野町中学生夢づくり事業			所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06063	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり		係名		担当者・シート作成者	小原 克則
	施策名	31	学校教育の充実		根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	中学2年生が自ら先行・行程・宿泊先等を決め、中学生だけで旅をする者に青春18きっぷと宿泊費の半額を助成する事業。	R5.10 中学校PTA役員会で提案 R5.12 補正予算案議会承認 R6.1 募集開始 R6.3 R5参加者22名が事業実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内に住所のある中学2年生	ア 生徒数	人	見込 実績			125 124	95	95
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 事業参加者数	ア 事業参加者数	人	目標 実績 達成率			125 22 17.6%	95	95 23.2%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 募集チラシ配布	ア 配布枚数	枚	目標 実績 達成率			125 124 99.2%	95	95 130.5%
イ 説明会開催	イ 開催回数	回	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	3	3 33.3%
ウ 補助金交付・清算事務	ウ 事務処理件数	件	目標 実績 達成率			125 22 17.6%	95	95 23.2%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の義務教育課程の児童・生徒	ア 調和のとれた人材に育てもらう
イ	イ 確かな学力と豊かな人間性を育てもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		事業 01					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		鏡野町中学生夢づくり事業					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			4,087	3,166	3,166	4,087	一般財源			407	3,166	3,166	407	
合計			4,087	3,166	3,166	4,087	合計(A)			407	3,166	3,166	407	
財源名称							従事正職員人数			1	1	1	1	
							延べ業務事務時間			100	160	160	100	
							人件費計(千円)(B)			334	534	534	334	
最終予算額		4,087 千円		予算執行率		9.9%		トータルコスト(A+B)		741	3,700	3,700	741	

1枚目

事業番号	06063	事務事業名	鏡野町中学生夢づくり事業	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
少子化等により対象者の人数は減少が見込まれる。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
令和5年度新規事業であり、特になし。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
参加者からは好意的な感想が寄せられた。安全性・公平性等の観点から事業に強く反対される方もいる。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 自ら考え、体験することで豊かな人間性を育むことにつながるものと考えられる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 中学2年生全員を対象とする場合、町以外に実施できる機関はない。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 人生で最も多感な年代である中学生を対象とすることで今後の人格形成に有意義な経験ができる。1年生は中学生活に馴染むための時期、3年生は受験等あるため、2年生を対象とした。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 参加率向上を目指す。R5は春休みだけの募集であったが、R6は夏・冬休みも活用する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> この事業によって参加者が得られる体験や感動は他の事業では代え難いと思われる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 実施データの蓄積等によりPRやスケジュール設定等、参加しやすい状態にできるものと思われる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 青春18きっぷは5日間使用できるため、3日間有効、などの切符が発売されれば削減できる。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 最小限の人数で事務を行っており、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 対象者全員同じ条件であり、公平である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新規事業であり募集期間等やスケジュール等非常にタイトなものとなったことから参加率が低くなったが、参加した生徒の報告書を見ると、他事業ではできない体験・感想を持ったことが分かる。また、町行事などへの参加は通常あまりみられない年代である中学生たちが22名も参加したことは一定の評価はできるのではないかと考えている。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 事業PRに努めてほしい、という意見が参加者からもあったことから、周知方法を工夫したい。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
学校行事ではないため、学校の協力がいないことから、資料配布等も滞ることがあるため検討したい。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	公民館共通経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06252	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32	生涯学習の推進	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町内公民館の共通管理費・・・公民館職員保険・旅費・館報の印刷経費などの共通経費	

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区館	ア 館長	人	見込 実績	12 12	12 12	12 12	12	12
イ 町内住民	イ 町民人口	人	見込 実績	11,970 12,497	11,800 12,358	11,627 12,116	11,455	11,280
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地域に根差した館報づくり	ア 毎月発行館報の充実	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12
イ 地区館の活動助成	イ 地区内活動の助成	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区館報のとりまとめ	ア 館報原稿の回収・配布・連絡等	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12
イ 支払い事務	イ 支払い件数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		公民館共通経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財	50	2,050	50	2,170	2,170	-2,000	その他特財	368	225	226	2,170	2,170	1	
一般財源	3,020	1,754	3,614	1,218	1,218	1,860	一般財源	2,530	3,499	3,372	1,218	1,218	-127	
合計	3,070	3,804	3,664	3,388	3,388	-140	合計(A)	2,898	3,724	3,598	3,388	3,388	-126	
財源名称	地区公民館雑入					従事正職員人数	1	1	1	1	1			
	地域振興基金利子					延べ業務事務時間	20	20	20	20	20			
						人件費計(千円)(B)	68	67	67	67	67	-1		
	最終予算額		3,664 千円		予算執行率	98.1%	トータルコスト(A+B)	2,966	3,791	3,665	3,455	3,455	-127	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地区公民館の管理運営の充実のため、現状維持が望ましい
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	中央公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06254	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町公民館設置条例、鏡野町公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営: 貸館(自主講座含む)、収納事務 管理: 施設安全維持のため定期保守点検(委託) 経常管理費予算執行等の事務	戦後改革の時代にすべての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養期間として公民館が設置された。1949年(昭和24年)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内住民	ア 町民人口	人	見込 実績	11,970 12,497	11,800 12,358	11,627 12,116	11,455	11,280
イ	イ	人	見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	32 27 84.4%	33 27 81.8%	19 32 168.4%	30	30 106.7%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	2,000 1,728 86.4%	2,000 2,362 118.1%	3,000 3,658 121.9%	4,000	4,000 91.5%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公民館運営・地区館運営	ア 公民館運営委員会開催(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	2 1 50.0%	2 1 50.0%	2 1 50.0%	2	2 50.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	22,000 24,663 112.1%	22,000 25,707 116.9%	25,000 20,018 80.1%	22,000	22,000 91.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		中央公民館経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財	505	505	505	750	750	その他特財	582	557	676	750	750	119		
一般財源	14,952	16,132	14,680	14,202	14,202	-1,452	一般財源	13,914	14,330	13,898	14,202	14,202	-432	
合計	15,457	16,637	15,185	14,952	14,952	-1,452	合計(A)	14,496	14,887	14,574	14,952	14,952	-313	
財源名称	鏡野公民館使用料					従事正職員人数	3	3	3	3	3			
	中央公民館雑入					延べ業務事務時間	594	594	594	594	594			
						人件費計(千円)(B)	2,032	1,997	1,981	1,981	1,981	-16		
	最終予算額		15,185 千円	予算執行率	95.9%		トータルコスト(A+B)	16,528	16,884	16,555	16,933	16,933	-329	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設維持管理は必要最小限の費用を計上しており削減の余地はない。利用しやすい環境を整え、ニーズを把握し講座開設に生かす必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	芳野公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06256	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	地区住民	→	ア	地区住民人口	人	見込 2,780 実績 2,759	2,780 2,794	2,780 2,763	2,780	2,780
イ		→	イ			見込 実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア	公民館で開催する講座数	講座	目標 13 実績 13 達成率 100.0%	13 15 115.4%	13 13 100.0%	12	12
イ	豊かで充実した生活を送ってもら	→	イ	講座受講者数	人	目標 4,000 実績 4,966 達成率 124.2%	4,000 3,091 77.3%	4,000 6,518 163.0%	6,000	6,000
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	公民館運営・維持管理	→	ア	公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 1 実績 1 達成率 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ		→	イ	公民館利用者総数	人	目標 5,000 実績 5,333 達成率 106.7%	5,000 3,338 66.8%	5,000 7,672 153.4%	7,000	7,000



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 02 公民館費		予算上の事業名					事業番号
	01		10		06		02		芳野公民館経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,624	1,505	1,408	1,294	1,294	-97	一般財源	1,377	1,306	1,184	1,294	1,294	-122	
合計	1,624	1,505	1,408	1,294	1,294	-97	合計(A)	1,377	1,306	1,184	1,294	1,294	-122	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450		
							人件費計(千円)(B)	4,960	4,875	4,836	4,836	4,836	-39	
	最終予算額	1,408 千円	予算執行率	84.0%	トータルコスト(A+B)		6,337	6,181	6,020	6,130	6,130	-161		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	芳野地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	大野公民館経常管理費			所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06258	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名	担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32	生涯学習の推進			根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	地区住民	→	ア	地区住民人口	人	見込 2,650 実績 2,629	2,650 2,609	2,650 2,597	2,650	2,650
イ		→	イ			見込 実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア	公民館で開催する講座数	講座	目標 20 実績 20 達成率 100.0%	20 17 85.0%	20 16 80.0%	20	20
イ	豊かで充実した生活を送ってもらう	→	イ	講座受講者数	人	目標 10,000 実績 7,101 達成率 71.0%	10,000 7,649 76.5%	10,000 10,332 103.3%	10,000	10,000
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	公民館運営・維持管理	→	ア	公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 1 実績 1 達成率 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ		→	イ	公民館利用者総数	人	目標 11,000 実績 10,204 達成率 92.8%	11,000 12,116 110.1%	12,000 14,818 123.5%	12,000	12,000

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町民	ア	生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		大野公民館経常管理費						
	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比		
	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	3,343	1,741	2,040	1,263		299	一般財源	3,226	1,718	2,032	1,263		314		
合計	3,343	1,741	2,040	1,263		299	合計(A)	3,226	1,718	2,032	1,263		314		
財源名称	従事正職員人数								1	1	1	1	1		
	延べ業務事務時間								1,450	1,450	1,450	1,450	1,450		
	人件費計(千円)(B)								4,960	4,875	4,836	4,836	4,836	-39	
	最終予算額		2,040 千円		予算執行率		99.6%		トータルコスト(A+B)		8,186	6,593	6,868	6,099	4,836

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	大野地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため、今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	大野公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06259	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R5 年度 ~ R6 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和5年度:改修工事に伴う工事設計委託 令和6年度:改修工事	大野公民館は昭和59年建設、築29年が経過し、内外部の老朽化が進んでおり地域住民の利便性を踏まえ、令和6年度に改修工事を行うため実施設計委託するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住民	ア 地区住民	人	見込 実績	2,650 2,629	2,650 2,609	2,650 2,597	2,650	2,650
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	20 20 100.0%	20 17 85.0%	20 16 80.0%	20	20
イ 豊かで充実した生活を送ってもら	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	10,000 7,101 71.0%	10,000 7,649 76.5%	10,000 10,332 103.3%	10,000	10,000
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 委託契約	ア 委託数	件	目標 実績 達成率			1 2 200.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		大野公民館臨時管理費					
	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債			5,280	135,000		5,280	町債			5,280	135,000		5,280	
その他特財							その他特財							
一般財源			1,740	7,150		1,740	一般財源			1,740	7,150		1,740	
合計			7,020	142,150		7,020	合計(A)			7,020	142,150		7,020	
財源名称	従事正職員人数									1	1		1	
	延べ業務事務時間									100	200		100	
	人件費計(千円)(B)									334	667		334	
	最終予算額	7,020 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)			7,354	142,817		7,354	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	大野地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設として維持する必要があり大規模改修を実施する。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	小田公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06260	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	1,500 1,419	1,500 1,385	1,500 1,349	1,500	1,500
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	17 17 100.0%	17 17 100.0%	17 15 88.2%	17	-
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	2,500 2,448 97.9%	2,500 4,467 178.7%	5,000 3,602 72.0%	5,000	5,000

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	4,000 3,571 89.3%	4,000 6,180 154.5%	6,000 5,802 96.7%	6,000	6,000



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		小田公民館経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,827	1,538	1,649	1,188	1,188	111	一般財源	1,639	1,414	1,422	1,188	1,188	8	
合計	1,827	1,538	1,649	1,188	1,188	111	合計(A)	1,639	1,414	1,422	1,188	1,188	8	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						1,450	1,450	1,450	1,450	1,450			
	人件費計(千円)(B)						4,960	4,875	4,836	4,836	4,836	-39		
	最終予算額	1,649 千円		予算執行率	86.2%		トータルコスト(A+B)	6,599	6,289	6,258	6,024	6,024	-31	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	小田地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	中谷公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06262	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込	600	600	600	600	600
イ	イ		実績	563	562	545		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標	13	13	13	13	13
			実績	13	13	13		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績	1,412	1,332	1,535		
			達成率	70.6%	66.6%	76.8%		76.8%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標	2,000	2,000	2,200	2,200	2,200
			実績	1,827	1,971	2,218		
			達成率	91.4%	98.6%	100.8%		100.8%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号		
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		中谷公民館経常管理費							
									01	19						
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	3,148	1,616	1,805	862		189	一般財源	2,890	1,413	1,420	862		7			
合計	3,148	1,616	1,805	862		189	合計(A)	2,890	1,413	1,420	862		7			
財源名称	従事正職員人数								1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間								1,450	1,450	1,450	1,450	1,450			
	人件費計(千円)(B)								4,960	4,875	4,836	4,836	4,836	-39		
	最終予算額	1,805 千円		予算執行率	78.6%			トータルコスト(A+B)	7,850	6,288	6,256	5,698	4,836	-32		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	中谷地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	中谷公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06263	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R5 年度 ~ R6 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和5年度:改修工事に伴う工事設計委託 令和6年度:改修工事	中谷公民館は昭和58年建設、平成13年の改修工事から22年が経過し、内外部の老朽化が進んでおり地域住民の利便性を踏まえ、令和6年度に改修工事を行うため実施設計委託するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住民	ア 地区住民	人	見込 実績	600 563	600 562	600 545	600	600
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	13 13 100.0%	13 13 100.0%	13 13 100.0%	13	13
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	2,000 1,412 70.6%	2,000 1,332 66.6%	2,000 1,535 76.8%	2,000	2,000
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 委託契約	ア 委託数	件	目標 実績 達成率			1 2 200.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 教育費		10 項 社会教育費		06 目 公民館費		02 大事業 中事業 01 20 予算上の事業名 中谷公民館臨時管理費					06263 事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債			3,490	70,200		3,490	町債			3,490	70,200		3,490	
その他特財							その他特財							
一般財源			560	3,760		560	一般財源			560	3,760		560	
合計			4,050	73,960		4,050	合計(A)			4,050	73,960		4,050	
財源名称							従事正職員人数			1	1		1	
							延べ業務事務時間			100	200		100	
							人件費計(千円)(B)			334	667		334	
	最終予算額	4,050 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)			4,384	74,627		4,384	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	中谷地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設として維持する必要があり大規模改修を実施する。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香南公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06264	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	1,200 1,175	1,200 1,158	1,200 1,151	1,200	1,200
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	16 16 100.0%	16 16 100.0%	16 15 93.8%	16	16 93.8%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	2,200 2,044 92.9%	2,200 2,591 117.8%	2,500 993 39.7%	2,500	2,500 39.7%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	3,600 3,548 98.6%	3,600 3,866 107.4%	4,000 1,920 48.0%	4,000	4,000 48.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		香南公民館経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	2,082	1,744	1,285	1,381	1,381	-459	一般財源	2,028	1,557	1,128	1,381	1,381	-429	
合計	2,082	1,744	1,285	1,381	1,381	-459	合計(A)	2,028	1,557	1,128	1,381	1,381	-429	
財源名称	従事正職員人数		1		1		1		1		1			
	延べ業務事務時間		1,450		1,450		1,450		1,450		1,450			
	人件費計(千円)(B)		4,960		4,875		4,836		4,836		4,836			
	最終予算額	1,285 千円	予算執行率	87.7%		トータルコスト(A+B)		6,988	6,432	5,964	6,217	6,217	-468	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	香南地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香南公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06265	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 4 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和4年度:改修工事に伴う工事設計委託 令和5年度:改修工事	平成5年度に完成した香南公民館は築29年が経過し、内外部の老朽化が進んでおり地域住民の利便性向上のため改修工事を実施。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住民	ア 地区住民	人	見込	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
イ	イ		実績	1,175	1,158	1,151		

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標	16	16	16	16	
イ 豊かで充実した生活を送ってもらおう	イ 講座受講者数	人	実績	16	16	15		
			達成率	100.0%	100.0%	93.8%		

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 委託契約	ア 委託数	件	目標		1	1		
イ	イ		実績		1	2		
			達成率		100.0%	200.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 02 公民館費		予算上の事業名					事業番号
	01		10		06		02		香南公民館臨時管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	06265	
国庫支出金		30,000			30,000	国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財		3,000	16,800			13,800		
一般財源	3,901	21,091			17,190	一般財源		652	34,096			33,444		
合計	3,901	51,091			47,190	合計(A)		3,652	50,896			47,244		
財源名称	合併特例債				従事正職員人数				1	1				
					延べ業務事務時間				200	300			100	
					人件費計(千円)(B)				672	1,001			328	
	最終予算額	51,091 千円	予算執行率	99.6%		トータルコスト(A+B)			4,324	51,897			47,572	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	香南地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設として維持する必要があり大規模改修を実施する。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香北公民館経常管理費			所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則	
06266	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32	生涯学習の推進			根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	450 422	450 412	450 405	450	450
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	7 7 100.0%	7 7 100.0%	7 6 85.7%	7	7 85.7%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	1,600 1,266 79.1%	1,600 1,156 72.3%	1,600 1,414 88.4%	1,600	1,600 88.4%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	2,400 2,351 98.0%	2,400 2,625 109.4%	2,600 2,786 107.2%	2,600	2,600 107.2%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		香北公民館経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,448	1,846	1,798	1,696	1,696	-48	一般財源	1,233	1,594	1,664	1,696	1,696	70	
合計	1,448	1,846	1,798	1,696	1,696	-48	合計(A)	1,233	1,594	1,664	1,696	1,696	70	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						1,450	1,450	1,450	1,450	1,450			
	人件費計(千円)(B)						4,960	4,875	4,836	4,836	4,836	-39		
	最終予算額	1,798 千円		予算執行率	92.5%		トータルコスト(A+B)	6,193	6,469	6,500	6,532	6,532	31	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	香北地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	郷公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06268	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	1,300 1,279	1,300 1,267	1,300 1,226	1,300	1,300
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	19 19 100.0%	19 18 94.7%	19 16 84.2%	19	19 84.2%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	5,000 3,143 62.9%	8,000 7,379 92.2%	9,000 4,941 54.9%	9,000	9,000 54.9%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	6,000 4,123 68.7%	9,000 9,253 102.8%	10,000 6,322 63.2%	10,000	—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 教育費		10 項 社会教育費		06 目 公民館費		02 大事業 中事業 予算上の事業名					01 025 郷公民館経常管理費	06268 事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	3,694	1,630	1,597	1,244		-33	一般財源	2,084	1,411	1,398	1,244		-13		
合計	3,694	1,630	1,597	1,244		-33	合計(A)	2,084	1,411	1,398	1,244		-13		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						1,450	1,450	1,450	1,450	1,450				
	人件費計(千円)(B)						4,960	4,875	4,836	4,836	4,836		-39		
	最終予算額		1,597 千円		予算執行率		87.5%		トータルコスト(A+B)		7,044	6,286	6,234	6,080	4,836

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	郷地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	郷公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06269	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R5 年度 ~ R6 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和5年度:改修工事に伴う工事設計委託 令和6年度:改修工事	郷公民館は平成4年建設、築31年が経過し、内外部の老朽化が進んでいる。地域住民の利便性を踏まえ、令和6年度に改修工事を行うため実施設計委託するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	1,300 1,279	1,300 1,267	1,300 1,226	1,300	1,300
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	19 19 100.0%	19 18 94.7%	19 16 84.2%	19	19 84.2%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	5,000 3,143 62.9%	8,000 7,379 92.2%	9,000 4,941 54.9%	9,000	—
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 契約件数	ア 委託数	件	目標 実績 達成率			1 3 300.0%	0	—
イ	イ	人	目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		郷公民館臨時管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債		4,000	79,700		4,000	町 債			4,000	79,700		4,000		
その他特財						その他特財								
一般財源		668	4,220		668	一般財源			668	4,220		668		
合計		4,668	83,920		4,668	合計(A)			4,668	83,920		4,668		
財源名称	従事正職員人数								1	1		1		
	延べ業務事務時間								100	200		100		
	人件費計(千円)(B)								334	667		334		
	最終予算額	4,668 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)				5,002	84,587		5,002		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	郷地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設として維持する必要性があり大規模改修を実施する。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	泉公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06270	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	400 385	400 372	400 366	400	400
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	17 17 100.0%	14 14 100.0%	17 16 94.1%	17	17 94.1%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	1,500 1,644 109.6%	2,500 2,246 89.8%	2,500 2,782 111.3%	2,500	—

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	2,000 1,985 99.3%	3,000 2,695 89.8%	3,000 3,681 122.7%	3,000	3,000 122.7%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		泉公民館経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	5	2	15	35	35	13	6	33	34	35	35	1		
一般財源	2,012	1,903	1,835	1,583	1,583	-68	1,588	792	1,394	1,583	1,583	602		
合計	2,017	1,905	1,850	1,618	1,618	-55	合計(A)	1,594	825	1,428	1,618	1,618	603	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						1,450	1,450	1,450	1,450	1,450			
	人件費計(千円)(B)						4,960	4,875	4,836	4,836	4,836	-39		
	最終予算額	1,850 千円		予算執行率	77.1%		トータルコスト(A+B)	6,554	5,700	6,264	6,454	6,454	564	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	泉地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	羽出公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06272	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	地区住民	→	ア	人	見込	350	350	350	350	350
イ		→	イ		実績	329	314	300		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア	講座	目標	10	9	10	10	10
					実績	9	9	7		
					達成率	90.0%	100.0%	70.0%		70.0%
イ	豊かで充実した生活を送ってもら	→	イ	人	目標	1,000	1,000	1,500	1,300	1,300
					実績	680	967	1,121		
					達成率	68.0%	96.7%	74.7%		86.2%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	公民館運営・維持管理	→	ア	回	目標	1	1	1	1	1
					実績	1	1	1		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ		→	イ	人	目標	2,000	2,000	3,000	3,000	3,000
					実績	1,780	2,745	2,930		
					達成率	89.0%	137.3%	97.7%		97.7%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 02 公民館費		予算上の事業名					事業番号
	01 一般会計		10 教育費		06 社会教育費		02 公民館費		羽出公民館経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	2,158	1,498	1,415	1,367	1,367	-83	一般財源	1,814	1,297	1,256	1,367	1,367	-41	
合計	2,158	1,498	1,415	1,367	1,367	-83	合計(A)	1,814	1,297	1,256	1,367	1,367	-41	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450		
							人件費計(千円)(B)	4,960	4,875	4,836	4,836	4,836	-39	
	最終予算額	1,415 千円	予算執行率	88.7%		トータルコスト(A+B)		6,774	6,172	6,092	6,203	6,203	-80	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	羽出地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06274	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込	480	480	480	480	480
イ	イ		実績	475	461	433		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標	6	7	6	6	6
			実績	6	7	7		
			達成率	100.0%	100.0%	116.7%		116.7%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標	900	900	900	1,000	1,000
			実績	608	804	1,082		
			達成率	67.6%	89.3%	120.2%		108.2%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標	1,100	1,100	1,100	1,500	1,500
			実績	1,079	1,285	1,530		
			達成率	98.1%	116.8%	139.1%		102.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		奥津公民館経常管理費						
	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比		
	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,277	1,769	1,375	979		-394	一般財源	1,133	1,655	1,148	979		-507		
合計	1,277	1,769	1,375	979		-394	合計(A)	1,133	1,655	1,148	979		-507		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						1,450	1,450	1,450	1,450	1,450				
	人件費計(千円)(B)						4,960	4,875	4,836	4,836	4,836		-39		
	最終予算額		1,375 千円		予算執行率		83.4%		トータルコスト(A+B)		6,093	6,530	5,984	5,815	4,836

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	奥津地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06275	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R5 年度 ~ R6 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和5年度:改修工事に伴う工事設計委託 令和6年度:改修工事	奥津公民館は昭和59年建設、築39年が経過し、内外部の老朽化が進んでいる。地域住民の利便性を踏まえ、令和6年度に改修工事を行うため実施設計委託するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住民	ア 地区住民	人	見込	480	480	480	480	480
イ	イ		実績	475	461	433		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標	6	7	6	6	6
イ 豊かで充実した生活を送ってもら	イ 講座受講者数	人	実績	6	7	7		116.7%
			達成率	100.0%	100.0%	116.7%		
			目標	900	900	900	1,000	1,000
			実績	608	804	1,082		
			達成率	67.6%	89.3%	120.2%		108.2%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 委託契約	ア 委託数	件	目標			1		
イ	イ		実績			1		
			達成率			100.0%		
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		奥津公民館臨時管理費					
	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	
	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債			4,030	104,200		4,030	町債			4,030	104,200		4,030	
その他特財							その他特財							
一般財源			271	5,500		271	一般財源			271	5,500		271	
合計			4,301	109,700		4,301	合計(A)			4,301	109,700		4,301	
財源名称							従事正職員人数			1	1		1	
							延べ業務事務時間			100	200		100	
							人件費計(千円)(B)			334	667		334	
	最終予算額	4,301 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)			4,635	110,367		4,635	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	奥津地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設として維持する必要があり大規模改修を実施する。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06276	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	540 517	540 496	540 469	540	540
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	14 14 100.0%	14 14 100.0%	14 13 92.9%	14	14 92.9%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	700 511 73.0%	900 873 97.0%	1,000 863 86.3%	1,000	1,000 86.3%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	800 642 80.3%	1,000 1,091 109.1%	1,100 1,065 96.8%	1,100	1,100 96.8%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 教育費		10 項 社会教育費		06 目 公民館費		02 大事業 中事業 01 51 予算上の事業名 上齋原公民館経常管理費					06276 事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	1,356	1,228	1,234	956	956	6	一般財源	816	809	802	956	956	-7	
合計	1,356	1,228	1,234	956	956	6	合計(A)	816	809	802	956	956	-7	
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1		
	延べ業務事務時間							1,450	1,450	1,450	1,450	1,450		
	人件費計(千円)(B)							4,960	4,875	4,836	4,836	4,836	-39	
	最終予算額	1,234 千円		予算執行率	64.9%			トータルコスト(A+B)	5,776	5,684	5,638	5,792	5,792	-46

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	上齋原地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06278	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	550 545	550 528	550 512	550	550
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	11 11 100.0%	11 11 100.0%	11 11 100.0%	11	11
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	2,000 1,669 83.5%	2,500 2,248 89.9%	2,500 2,130 85.2%	2,500	2,500
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	2,600 2,567 98.7%	3,000 2,910 97.0%	3,000 3,039 101.3%	3,000	3,000

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 教育費		10 項 社会教育費		06 目 公民館費		02 大事業 中事業 01 71 予算上の事業名 富公民館経常管理費					06278 事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	1	1	1	10	10		その他特財			7	10	10	7	
一般財源	3,164	2,551	2,483	2,172	2,172	-68	一般財源	2,524	2,249	2,094	2,172	2,172	-155	
合計	3,165	2,552	2,484	2,182	2,182	-68	合計(A)	2,524	2,249	2,101	2,182	2,182	-148	
財源名称	従事正職員人数								1	1	1	1	1	
	延べ業務事務時間								1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	
	人件費計(千円)(B)								4,960	4,875	4,836	4,836	4,836	-39
	最終予算額		2,484 千円		予算執行率		84.5%		トータルコスト(A+B)		7,484	7,124	6,937	7,018

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	富地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	社会教育施設臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06341	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町指定管理施設事業継続支援給付金事業実施要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	公共公益施設の指定管理者に対して令和6年度以降における指定管理業務継続を目的として給付金を交付する。	エネルギー価格等の高騰により影響を受ける指定管理者に対して令和6年度以降における指定管理業務継続を目的として給付金を交付する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 指定管理施設	ア 指定管理施設	施設	見込 実績			2 1		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 指定管理施設の業務継続	ア 給付金の交付施設	施設	目標 実績 達成率			2 1 50.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	ア		目標 実績 達成率					
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		社会教育施設臨時管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金		1,058			1,058	国庫支出金			1,058			1,058		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源		200			200	一般財源			111			111		
合計		1,258			1,258	合計(A)			1,169			1,169		
財源名称	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				従事正職員人数				1			1		
					延べ業務事務時間				40			40		
					人件費計(千円)(B)				133			133		
	最終予算額	1,258 千円	予算執行率	92.9%		トータルコスト(A+B)				1,302			1,302	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	エネルギー価格等の高騰により影響を受ける指定管理者に対して、令和6年度以降の事業継続のための支援となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	ペスタロッツ館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06350	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	渡邊 英紀
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町総合文化施設条例及び施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	ペスタロッツ館の維持・管理運営を行う。併せて、ホールなど設備の維持管理・保守点検、ピアノ調律・保守点検を行う。日常業務の中で維持管理・運営及び業者委託による保守点検。	平成15年に閉館したペスタロッツ館の管理運営を行うため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,600	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 来館者数	人	目標	4,000	6,000	8,000	8,000	8,000
			実績	5,854	3,567	5,955		
			達成率	146.4%	59.5%	74.4%		74.4%
イ 快適に施設利用をしてもらう	イ 施設の不具合件数	件	目標	0	0	0	0	
			実績	11	3	8		
			達成率	-	-	-		-
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 設備の確認と保守点検の委託	ア 年間運営日数	日	目標	292	218	292	292	
			実績	297	207	296		
			達成率	101.7%	95.0%	101.4%		-
イ 照明など設備の点検	イ 保守点検項目	件	目標	20	20	20	20	20
			実績	20	20	20		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		ペスタロッツ館経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	665	455	455			その他特財	864	894	1,105			211		
一般財源	19,371	25,742	23,287		-2,455	一般財源	18,622	20,342	20,631			289		
合計	20,036	26,197	23,742		-2,455	合計(A)	19,486	21,236	21,736			500		
財源名称	ペスタロッツ館使用料					従事正職員人数	2	2	2					
	ペスタロッツ館雑入					延べ業務事務時間	2,352	1,700	1,700					
						人件費計(千円)(B)	8,046	5,715	5,670			-46		
	最終予算額 23,742 千円					予算執行率	91.5%	トータルコスト(A+B)		27,532	26,951	27,406	454	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	令和4年度に大規模改修を行い、館内照明をLEDに変更し、光熱水費の節減に務めることができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	図書館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06353	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	図書館	担当者・シート作成者	森 由美恵
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立図書館条例及び同条例施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	住民の読書活動や情報収集を担う生涯学習施設として、住民の求める資料や情報の提供と紹介を行い、文化の高いまちづくりを推進する。資料の収集・管理、提供に係る事務の他、広報紙の発行を行う。また、学校等の町内団体と連携を取り、第1次鏡野町子ども読書活動推進計画に基づく読書環境整備や読書推進事業(ブックスタート、セカンドブック)を実施する。	平成15年3月、鏡野町立図書館が設置開館されたため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標									
ア	鏡野町及び周辺市町村の住民	→	ア	町内外住民	人	見込	130,000	130,000	13,000	11,455	11,280
						実績	12,497	12,358	12,116		
イ	鏡野町内の勤務者及び町内の小中学生	→	イ	利用登録者	人	見込	11,900	12,000	12,000	12,000	
						実績	11,884	12,144	12,482		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)									
ア	生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア	図書館の利用者	人	目標	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
						実績	44,965	30,981	49,689		
						達成率	56.2%	38.7%	62.1%		62.1%
イ	快適な施設利用をしてもらう	→	イ	貸出冊数	冊	目標	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
						実績	119,246	87,527	118,388		
						達成率	85.2%	62.5%	84.6%		84.6%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標									
ア	ブックスタートや団体貸出による乳幼児・子どもの読書活動の推進	→	ア	開館日数	日	目標	290	290	290	290	290
						実績	288	288	289		
						達成率	99.3%	99.3%	99.7%		99.7%
イ	生涯学習の支援	→	イ	図書館システム保守依頼件数	件	目標	10	10	10	10	10
						実績	6	14	25		
						達成率	60.0%	140.0%	250.0%		250.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		図書館経常管理費					
3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度見込	7年度見込	前年比	決算(千円)	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度見込	7年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金	9,000	4,012	3,453		-559	県支出金								
町債						町債								
その他特財		10	10			その他特財	61	21	73			52		
一般財源	5,090	10,357	10,985		628	一般財源	13,586	13,259	13,651			392		
合計	14,090	14,379	14,448		69	合計(A)	13,647	13,280	13,724			444		
財源名称	電源立地特別補助金				従事正職員人数	4	3	4				1		
	図書館費雑入				延べ業務事務時間	1,300	1,300	1,300						
					人件費計(千円)(B)	4,447	4,371	4,336				-35		
	最終予算額		14,448 千円	予算執行率	94.9%	トータルコスト(A+B)	18,094	17,651	18,060				409	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	費用をかせげず内容を工夫し、他の課にも協力を得て行事や館外サービスを行い好評いただいた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	図書館システムの不安な点は随時連絡を取り円滑に業務が行えた。他の図書館と連携しサービスを充実させられた。
改善余地がない	公平・公正である	住民への広報の工夫や、学校との連携を図りさらに利用の促進を図る必要がある。

事業番号	事務事業名	郷土博物館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06355	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	文化財係	担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	鏡野町総合文化施設条例、鏡野町総合文化施設条例施行規		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町内の文化財、歴史資料の収集・保管・展示を目的として設置された郷土博物館の運営及び維持管理を行う業務。故障・破損箇所の修繕、企画展の実施、体験講座の実施、見学者への説明、資料の収集・整理、調査研究。	平成15年、ベスタロッツ館建設に伴い、館内に鏡野郷土博物館が開館したことによる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	施設の利用者	→	ア	来館者	人	見込 400 実績 400	500 400	500 330	500	500
イ	保管・展示している資料	→	イ	資料数	点	見込 実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	地域の歴史や文化財に対する理解	→	ア	来館者の増加率	%	目標 100 実績 114 達成率 114.0%	100 100.0%	100 (17) -17.0%	100	100
イ	資料を現状のまま保管し、後世に伝える	→	イ	体験講座の参加者の増加率	%	目標 100 実績 173 達成率 173.0%	100 122.0%	100 (26) -26.0%	100	100
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	体験講座・出前講座の開催	→	ア	講座の開催数	回	目標 10 実績 3 達成率 30.0%	10 8 80.0%	10 11 110.0%	10	10
イ		→	イ	講座の参加者数	人	目標 150 実績 30 達成率 20.0%	150 153 102.0%	150 113 75.3%	150	150

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の文化財・伝統文化	ア	適切に保存、管理し、後世に継承する
イ	町民	イ	伝統文化に親しんでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		郷土博物館経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財	14	10	14	14	14	4	19	24	23	14	14	-1		
一般財源	138	3,040	152	118	118	-2,888	65	2,997	124	118	118	-2,873		
合計	152	3,050	166	132	132	-2,884	合計(A)	84	3,021	147	132	132	-2,874	
財源名称	郷土博物館講座受講料					従事正職員人数	1	2	2	2	2			
						延べ業務事務時間	250	280	280	280	280			
						人件費計(千円)(B)	855	941	934	934	934	-8		
	最終予算額		166 千円	予算執行率	88.5%		トータルコスト(A+B)	939	3,962	1,081	1,066	1,066	-2,882	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	所蔵資料の整理を行いつつ、展示内容を充実させることで、来館者増加につなげる。また、引き続き講座を開催し、歴史や文化財に興味を持ってもらう。
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	ほたる館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06357	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町ほたる館設置条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・ホタルの保護育成を図り、環境保護活動を推進し自然と共存する町づくりを推進する。 ・平成4年に「ホタルを育む会」を結成	平成14年に源氏ボタルの発生地として、保護活動を推進する施設を設置

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民		ア 地区住民人口	人	見込	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
イ		イ		実績	1,279	1,267	1,226		
				見込					
				実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 源氏ボタルの保護活動		ア 河川清掃	団体	目標	2	2	2	2	2
イ		イ		実績	2	2	2		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
				目標					
				実績					
				達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設の維持管理・支払い		ア 支払い事務	回	目標	2	2	2	2	
イ		イ		実績	2	2	2		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		-
				目標					
				実績					
				達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		ほたる館経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	263	227	232	216	216	5	一般財源	255	209	223	216	216	14	
合計	263	227	232	216	216	5	合計(A)	255	209	223	216	216	14	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1					
	延べ業務事務時間						2	2	2					
	人件費計(千円)(B)						7	7	7			-0		
	最終予算額		232 千円	予算執行率		96.1%	トータルコスト(A+B)		262	216	230	216	216	14

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
見直し余地がある	向上余地がある	保護活動拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	教育集会所経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06359	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	17	人権尊重と人権意識の高揚	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町内4カ所の教育集会所(吉原・小座・河本・薪森原)の管理(光熱水費等支払)及び補助金交付、修繕の対応。 年1回運営委員会を開催し、運営等について協議。 運営委員会からの補助金申請・補助状況の把握・請求書の提出・補助金支出事務。	昭和44年同和対策基本法及び関連法に基づき、同和地区の差別解消を図るための学習・交流施設として設置。そのあと法令は廃止となったが、町独自で地域の実情に応じた同和対策事業を継続している。 ・吉原教育集会所(建築年度昭和42年度)・小座教育集会所(建築年度昭和61年度)・河本教育

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 各教育集会所利用対象者	ア 利用人数	人	見込 実績	110 102	110 124	110 187	110	
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地域交流の充実	ア 利用人数	人	目標 実績 達成率	110 102 92.7%	110 124 112.7%	110 187 170.0%	110	
イ	イ 利用回数	回	目標 実績 達成率	50 31 62.0%	50 32 64.0%	50 34 68.0%	30	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設の維持管理・集会・交流活動	ア 交流会活動参加延数	人	目標 実績 達成率	500 507 101.4%	500 2,272 454.4%	500 2,611 522.2%	2,000	
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 人権への意識を高め、人権を尊重した行動をしてもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		教育集会所経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,035	1,085	1,344	1,029	1,029	259	一般財源	923	1,046	1,340	1,029	1,029	294	
合計	1,035	1,085	1,344	1,029	1,029	259	合計(A)	923	1,046	1,340	1,029	1,029	294	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						16	16	16	16	16			
	人件費計(千円)(B)						55	54	53	53	53	-0		
	最終予算額	1,344 千円		予算執行率	99.7%		トータルコスト(A+B)	978	1,100	1,393	1,082	1,082	294	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地域の人権教育・地域活動の拠点として今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	コミュニティハウス経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06361	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町コミュニティハウス設置条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	近衛コミュニティハウス及び極楽寺コミュニティハウスの維持管理。 近衛コミュニティハウスは、平成12年に近衛地区に管理委託し、管理委託料及び光熱水費の支払いを行う。 R2: 両方のコミュニティハウスの漏水工事実施 R3: 近衛の別館の屋根と雨樋工事実施・極楽寺のぼっ気プロワーベルト交換工事 R4: 極楽寺のぼっ気プロワーベルト交換工事実施 R5: 極楽寺の浄化槽補修工事・近衛の樋修繕工事	地域住民の生涯学習、文化活動の振興を図るため、鏡野町コミュニティハウスを設置 ・近衛コミュニティハウス(昭和58年3月建築) ・極楽寺コミュニティハウス(昭和54年3月建築)

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町内人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,600	11,600
			実績	12,497	12,351	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 学習機会の提供と充実	ア 町内人口	人	目標	11,970	11,800	11,627	11,600	11,600
			実績	12,497	12,351	12,116		
			達成率	104.4%	104.7%	104.2%		104.4%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 管理委託料の支払	ア 管理委託料の支払回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 施設経常管理費の支払	イ 施設経常管理費の支払回数	回	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		コミュニティハウス経常管理費						
									01	22					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	893	1,302	1,329	896	896	27	一般財源	844	1,270	1,319	896	896	49		
合計	893	1,302	1,329	896	896	27	合計(A)	844	1,270	1,319	896	896	49		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						20	20	20	20	20				
	人件費計(千円)(B)						68	67	67	67	67		-1		
	最終予算額		1,329 千円		予算執行率		99.2%		トータルコスト(A+B)		912	1,337	1,386	963	963

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	各コミュニティハウスともに適切に管理していただいているが、施設老朽化に伴う修繕箇所が年々増加してきている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津歴史資料館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06363	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	鏡野町奥津歴史資料館条例・鏡野町奥津歴史資料館管理運		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①指定管理料の支払い ②企画展の立案・準備・展示替え ③関係機関等への広報 ④施設の修繕等の対応 ⑤指定管理団体による管理体制のチェック及び調整	苦田ダム振興計画内に「歴史資料館の整備」の項目があり、奥津温泉街北端に位置する中国電力事務所跡地を買収し、内部改装を行い、展示施設とした。町内の歴史を学ぶ学習施設としてではなく、観光施設としての役割も担っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設	ア 施設の利用者数	人	見込 実績	1,300 891	1,500 1,187	1,300 839	1,300	1,300
イ 施設の利用者	イ 団体説明の回数	回	見込 実績	2 1	2 1	2 3	2	2

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設の保全	ア 施設の修繕箇所・不具合の対応率	%	目標 実績 達成率	100 100 100.0%	100 100 100.0%	100 100 100.0%	100	100.0%
イ 町内の歴史・文化に対する理解	イ 来館者の増加	人	目標 実績 達成率	93 (206) -221.5%	200 296 148.0%	200 (348) -174.0%	200	-174.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 常設展示の展示替え	ア 常設展示の展示替え	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	0.0%
イ 企画展の展示替え	イ 企画展の展示替え	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1	0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		奥津歴史資料館経常管理費						
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町 債						町 債									
その他特財						その他特財									
一般財源	3,914	3,162	3,093	3,043	3,043	-69	一般財源	3,865	3,088	3,064	3,043	3,043	-24		
合計	3,914	3,162	3,093	3,043	3,043	-69	合計(A)	3,865	3,088	3,064	3,043	3,043	-24		
財源名称	従事正職員人数						2	3	2	2	2	-1			
	延べ業務事務時間						150	150	150	150	150				
	人件費計(千円)(B)						513	504	500	500	500	-4			
	最終予算額		3,093 千円		予算執行率		99.0%		トータルコスト(A+B)		4,378	3,592	3,564	3,543	3,543

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	昨年度に比べて来館者数が減少したため、周知や広報を徹底し、来館者数を増やす必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	文化資源保存伝習館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06365	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	鏡野町文化資源保存伝習館条例	鏡野町文化資源保存伝習館	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	施設の老朽化による廃止が検討されているため、令和3年度より委託契約を解除し、休館している。本年度は、光熱水費等必要経費の支払いと、備品の所管替えに関する業務を行う。	廃校となった羽出小学校の校舎を利用して平成6年に開館、2階を民俗資料の保管・展示施設として、1階を木工加工施設として、当初より第3セクターである未来奥津に管理業務を委託、平成23年度からは作州かがみの森林組合に委託。令和3年度より委託契約を解除し、休館。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設の一般利用者	ア 施設の利用者数	名	見込 実績	0 0	0 0	0 0	0	
イ 施設を管理する委託先	イ 委託団体数	団体	見込 実績	0 0	0 0	0 0	0	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設の保全	ア 施設の修繕箇所、不具合の対応率	%	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0	
イ 町の伝統産業の振興	イ 利用者の増加数	人	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0	
				0				
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設の点検	ア 修繕箇所	箇所	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0	
イ 委託契約の締結と委託料の支払い	イ 管理委託料の支払件数	件	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		文化資源保存伝習館経常管理費					
	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	12						その他特財							
一般財源	594	240	267			27	一般財源	343	121	109			-12	
合計	606	240	267			27	合計(A)	343	121	109			-12	
財源名称	文化資源保存伝習館使用料						従事正職員人数	1	1	1				
							延べ業務事務時間	80	20	20				
							人件費計(千円)(B)	274	67	67			-1	
	最終予算額		267 千円		予算執行率	40.8%		トータルコスト(A+B)	617	188	176			-13

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	5年度の支出は電気代のみ。建物は6年度で取り壊しをする。以後、羽出歴史資料倉庫経常管理費へ移行。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野町郷土館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06367	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	鏡野町歴史資料館条例・鏡野町郷土館運営委員会規約		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	円通寺境内にある鏡野町郷土館の管理運営。 ①館長と委託契約を締結し、委託料を支払う ②委員会を開き、年度の行事を決める ③修繕の必要な部分については、予算措置をし修繕する ④実績報告書の確認	昭和48年、県のコミュニティ地域に指定されたことを機に、昭和49年11月8日、鏡野町郷土館が開館したため。 施設の場所が円通寺境内にあるため、円通寺住職を館長に委任し、委託料を支払う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 展示・保管施設	ア 資料の保管数	点	見込 実績	52 52	52 52	52 52	52	52
イ 収蔵している資料(町所蔵品は52点)	イ 委託団体	団体	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1	1
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設の保全	ア 施設の修繕及び不具合の対応率	%	目標 実績 達成率	100 100 100.0%	100 100 100.0%	100 50 50.0%	100	50.0%
イ 文化財の保管	イ 利用者数の増加率	%	目標 実績 達成率	120 100 83.3%	120 120 100.0%	120 0 0.0%	120	0.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 会議の開催	ア 会議の開催回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	100.0%
イ	イ	回	目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 教育費		10 項 社会教育費		06 目 社会教育施設費		03 01 35 大事業 中事業 鏡野町郷土館経常管理費		事業番号		
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	59	65	63	60	60	-2	一般財源	56	50	50	60	60	
合計	59	65	63	60	60	-2	合計(A)	56	50	50	60	60	0
財源名称							従事正職員人数	1	2	2	2	2	
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20	
							人件費計(千円)(B)	68	67	67	67	67	-1
	最終予算額		63 千円		予算執行率		79.3%	トータルコスト(A+B)	124	117	117	127	127

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	昨年度に比べて来館者数が減少したため、周知や広報を徹底し、来館者数を増やす必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原文化センター経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06369	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	上齋原文化センター条例・同条例施行規則指定管理者の指		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	上齋原文化センター指定管理に伴う諸事務、設備の修繕実施 ○指定管理料支出 ○鏡野町指定管理施設事業継続補助金	従来から施設管理を受託し、十分な管理ノウハウを持つ地元団体の活力導入による施設利用活性化をはかるため、平成23年度から指定管理制度導入の準備を進め、平成23年12月議会において可決、平成24年度より指定管理体制へ移行した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ	イ 上齋原地区住民人口	人	見込	510	500	500	500	500
			実績	517	496	469		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯にわたりテーマを持ち学習してもらう	ア 施設利用者	人	目標	2,000	2,000	2,100	2,100	2,100
			実績	1,085	1,312	1,903		
			達成率	54.3%	65.6%	90.6%		90.6%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設利用状況	ア 施設利用回数	回	目標	150	150	150	150	150
			実績	97	105	105		
			達成率	64.7%	70.0%	70.0%		70.0%
イ 施設稼働率	イ 施設稼働率	%	目標	24	24	24	24	24
			実績	7	11	7		
			達成率	29.6%	45.8%	29.2%		29.2%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 03 社会教育施設費		予算上の事業名					事業番号
	01		10		06		03		上齋原文化センター経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	20,207	21,999	21,178	20,009	20,009	-821	一般財源	20,207	21,349	21,178	20,009	20,009	-171	
合計	20,207	21,999	21,178	20,009	20,009	-821	合計(A)	20,207	21,349	21,178	20,009	20,009	-171	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						53	53	53	53	53			
	人件費計(千円)(B)						181	178	177	177	177	-1		
	最終予算額		21,178 千円	予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)		20,388	21,527	21,355	20,186	20,186	-172

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	エネルギー価格の高騰により影響を受ける指定管理者に、次年度以降の業務継続のために、指定管理施設事業継続支援給付金を支給した。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原文化センター臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06370	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	上齋原文化センター条例・同条例施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	上齋原文化センターヴァルトホールリハーサル室の床の修繕。	上齋原文化センターヴァルトホールリハーサル室の床が剥がれてきたための修繕。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	→	イ 上齋原地区住民	人	実績	12,497	12,358	12,116		
				見込	510	500	500	500	500
				実績	517	496	469		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯にわたりテーマを持ち学習してもらう	→	ア 施設利用者	人	目標	2,000	2,000	2,100	2,100	2,100
イ	→	イ		実績	1,085	1,312	1,903		
				達成率	54.3%	65.6%	90.6%		90.6%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 施設利用状況	→	ア 施設利用回数	回	目標	150	150	150	150	150
イ 施設稼働率	→	イ 施設稼働率	%	実績	97	105	105		
				達成率	64.7%	70.0%	70.0%		70.0%
				目標	24	24	24	24	24
				実績	7	11	7		
				達成率	29.2%	45.8%	29.2%		29.2%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		上齋原文化センター臨時管理費					
	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	
	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			231			231	一般財源			231			231	
合計			231			231	合計(A)			231			231	
財源名称							従事正職員人数			1			1	
							延べ業務事務時間			10			10	
							人件費計(千円)(B)			33			33	
	最終予算額	231 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)			264			264	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設が老朽化してきており、計画的な修繕が必要になってきている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富教育歴史資料館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06371	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町歴史資料館条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営: 富公民館、教育歴史資料館、図書館の運営 ・管理: 施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、経常管理費予算執行等の事務	富小学校の廃校に伴い、教育歴史資料館として整備。公民館が手狭なため事務所、図書館を移す。富中学校施設を改修し、富公民館2階で令和元年度に開館。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	550 545	550 528	550 512	550	
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 快適な施設利用をしてもらう	ア 教育歴史資料館利用者	団体	目標 実績 達成率	80 45 56.3%	80 80 100.0%	80 48 60.0%	80	
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 教育歴史資料館・図書館・子ども室の管理、活用推進	ア 教育歴史資料館利用者	人	目標 実績 達成率	90 45 50.0%	80 80 100.0%	80 48 60.0%	80	
イ	イ 図書利用者	人	目標 実績 達成率	300 328 109.3%	320 266 83.1%	320 228 71.3%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 03 社会教育施設費		予算上の事業名 富教育歴史資料館経常管理費					事業番号 06371
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	60	75	60			-15	一般財源	20	57	56			-1	
合計	60	75	60			-15	合計(A)	20	57	56			-1	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1					
	延べ業務事務時間						384	350	350					
	人件費計(千円)(B)						1,314	1,177	1,167				-9	
	最終予算額		60 千円		予算執行率		93.3%		トータルコスト(A+B)		1,334	1,234	1,223	-10

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	かけられている経費や業務時間は最低限度であるが、適正な管理が行われている。少なくともこの状態は今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	生活改善センター経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06375	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町生活改善センター条例・鏡野町生活改善センター条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営・管理: 大地区に管理委託(地域コミュニティ施設として活用) 維持管理: 経常管理費の事務執行(生涯学習課)	興基分校の閉校に伴い、大地区住民の活性化施設として昭和56年に設置され、当初は公民館・大分館と位置付けられた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込	550	550	550	550	
			実績	543	528	512		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供	ア 年間利用回数	回	目標	50	50	50	60	
			実績	29	63	58		
			達成率	58.0%	126.0%	116.0%		
イ	イ 年間利用者数	人	目標	200	200	200	600	
			実績	206	629	565		
			達成率	103.0%	314.5%	282.5%		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 維持管理費等の支払い	ア 契約	回	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
イ	イ 支払い事務(半期ごと)		目標	2	2	2	2	
			実績	2	2	2		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		生活改善センター経常管理費					
	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	5	5	5				その他特財	3	2	4			2	
一般財源	935	741	788			47	一般財源	847	667	648			-19	
合計	940	746	793			47	合計(A)	850	669	652			-17	
財源名称	生活改善センター使用料						従事正職員人数	1	1	1				
							延べ業務事務時間	48	48	48				
							人件費計(千円)(B)	164	161	160			-1	
	最終予算額		793 千円		予算執行率	82.2%		トータルコスト(A+B)	1,014	830	812			-18

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	富地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	木工陶芸館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06377	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	富ふるさと公園条例・富ふるさと公園規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営: 木工教室・陶芸教室の自主講座で活用 (それぞれの教室生が責任を持つ) ・維持管理: 修繕等の維持管理については、経常管理費の事務執行(富公民館)	富総合福祉センター設置に伴い、地域住民の福祉と生涯学習の一環として施設を設置

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	550 543	550 528	550 512	550	
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する。	ア 年間利用回数	回	目標 実績 達成率	50 53 106.0%	50 53 106.0%	60 47 78.3%	60	
イ 快適な施設利用をしてもらう	イ 年間利用者数	人	目標 実績 達成率	200 180 90.0%	200 180 90.0%	200 185 92.5%	200	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 木工教室・陶芸教室の開催	ア 教室開催回数	回	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 0 0.0%	2 0 0.0%	2	
イ	イ 開館日数		目標 実績 達成率	285 285 100.0%	285 285 100.0%	285 285 100.0%	285	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 03 社会教育施設費		予算上の事業名 木工陶芸館経常管理費					事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	275	275	301			26	一般財源	205	228	217			-11	
合計	275	275	301			26	合計(A)	205	228	217			-11	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1				
							延べ業務事務時間	1	1	1				
							人件費計(千円)(B)	3	3	3			-0	
	最終予算額		301 千円		予算執行率	72.0%		トータルコスト(A+B)	208	231	220			-11

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	かけられている経費や業務時間は最低限度であるが、適正な管理が行われている。少なくともこの状態は今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	図書館図書購入費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06392	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	図書館	担当者・シート作成者	森 由美恵
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立図書館条例及び同条例施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	種類、数において個人では入手できない規模の資料を収集し、長年にわたり広く共同利用できるように整備する。図書及び視聴覚資料はあらゆる分野から選定するとともに、利用者からの要望も加味し購入する。新聞・雑誌は予め選定したものを随時納品後に利用者へ提供する。	平成15年3月、鏡野町立図書館開館に伴い開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ 近隣市町村住民	イ エリア内住民人口	万人	見込	13	13	13	13	13
			実績	13	13	13		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 多くの人に本を読んでもらう	ア 年間個人貸出冊数	冊	目標	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
			実績	119,246	87,527	98,874		
			達成率	85.2%	62.5%	70.6%		70.6%
イ 生涯学習を支援する	イ 年間来館者数	人	目標	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
			実績	44,965	30,981	49,689		
			達成率	56.2%	38.7%	62.1%		62.1%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 図書の選定・発注	ア 図書の選定・発注回数	回	目標	60	60	60	60	60
			実績	56	57	55		
			達成率	93.3%	95.0%	91.7%		91.7%
イ			目標					
			実績					
			達成率					
ウ			目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 03 社会教育施設費		大 51 中 13		予算上の事業名 図書館図書購入費					事業番号 06392
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財	5,977	5,099	5,016			-83	その他特財	5,000	4,996	5,016			20			
一般財源	486	1,100	1,372			272	一般財源	1,395	1,036	1,315			279			
合計	6,463	6,199	6,388			189	合計(A)	6,395	6,032	6,331			299			
財源名称	地域振興基金利子						従事正職員人数	4	4	4						
	図書館費雑入						延べ業務事務時間	235	235	235						
							人件費計(千円)(B)	804	790	784			-6			
	最終予算額		6,388 千円	予算執行率	99.1%		トータルコスト(A+B)	7,199	6,822	7,115			293			

事業番号	06392	事務事業名	図書館図書購入費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	----------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年)、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)(令和元年)に基づいて、岡山県立図書館や地域・学校と連携し読書活動の推進、環境の整備に取り組んでいる。第1回鏡野町子ども読書推進計画(令和2年)策定。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
話題の本や、受賞作など評価の高い本、個人利用者や団体利用者からの意見を参考に、利用率の高い内容のもの、情報がわかりやすくまとめられているものを厳選して購入。文字を読みづらい方へ大活字本や、朗読CDなどを購入。リクエストには、購入の他、他の図書館との相互貸借を利用して応じている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
学校から授業での利用は希望が重なるため、複本も購入してほしいとの要望がある。利用者からクラシックのCDを一般的に有名なものをそろえてほしいと要望や、政治に関する雑誌などのリクエストなどがあったが、類似資料があるため新たな購入はしていない。その他のリクエストには常時、応えている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 利用者からの要望と利用分析を資料収集に反映しているため、個々の生涯学習活動の充実を図ることができる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 他に類似施設がなく、個人では収集不可能な数の資料を共同利用できる状態にすることは、個人の経済的負担を抑えたとともに、情報収集の幅を広げることが可能となる。そのための環境整備関与は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 常に利用者の意見・要望を取り入れ、追加・変更する。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 世の中の動きや、町民の関心のあるものの情報収集に努め、生涯学習の様々なテーマに沿った行事や展示を企画し、利用率が向上するよう努める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 他に類似施設がないため、生涯学習意欲の低下に繋がる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 新刊を早い段階で厳選し、利用者の要望に応えるためには、図書館職員の選定作業が妥当である。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 図書、雑誌、新聞の購入内容の見直しを行い、収集、整理をしている。削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町民をはじめ、広く近隣住民にも無料開放しており、運用も公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	親しみの持てる図書館になるよう大人から子どもまで楽しめる行事を企画し、広報を行い、集客に努めた。 利用者の生涯学習意欲を常に援助するため、継続して蔵書の充実にも努めている。 さまざまな利用者の読書を支える読書バリアフリーの環境を整えるため、調査や研修を行った。引き続き、指定管理者へ同じ方向で取り組みを伝え、実施を依頼している。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 定期的に地域に出向き、利用者を獲得する計画を検討する。公民館、学校や児童クラブなど施設(団体)との連携を図り、利用しやすい環境を整える。図書館を利用していない住民が利用するきっかけになるような地域の方が関心の多い行事を企画する。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
学校や園、一般利用者からの要望に寄り添い、図書館側からのサービスに関する情報発信を工夫して行う。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	鏡野町多目的公園整備事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06399	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	・鏡野町公園等維持管理基金条例 ・鏡野町立公園等条例 鏡野町立公園等条例施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R2 年度 ~ R5 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	住民の憩いの場、幅広い年齢層の方が気軽に体を動かすことができる公園として、多目的広場、複合遊具等を備えた多目的公園を整備する。 令和5年度は町民に公園名称を募集し278件の応募の中から「鏡野ふれあい運動公園」に決定。令和6年3月31日、落成式を挙行了た。 ・手数料(看板塔、四阿の完了検査、確認申請等) ・工事請負費(資産:土地)駐車場舗装工事等 ・工事請負費(資産:土地以外)総合遊具新設、緑化工事	町民アンケートにおいて、住民からの公園整備の要望は多く、多目的に利用できる広場や複合遊具の設置、健康遊具等も備えた幅広い年齢層に親しまれる多目的な公園を整備する。また、近年多発する自然災害時にも対応できるように備蓄倉庫等を設置する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627		
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 多くの町民に利用してもらう	ア 整備する公園数	件	目標	1	1	1		
			実績	0	0	1		
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%		
イ 健康づくりや地域コミュニティの場所として活用してもらう	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 整備に係る工事の実施	ア 工事委託契約数	件	目標	1	1	30		
			実績	1	1	48		
			達成率	100.0%	100.0%	160.0%		
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 03 社会教育施設費		予算上の事業名 鏡野町多目的公園整備事業費					事業番号 06399
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金	92,811	44,325	40,000			-4,325	国庫支出金	68,600	44,325	40,000			-4,325	
県支出金							県支出金							
町債	38,900	103,900	116,000			12,100	町債	38,900	103,900	116,000			12,100	
その他特財							その他特財	36,062						
一般財源	103,264		48,388			48,388	一般財源	4,999		41,874			41,874	
合計	234,975	148,225	204,388			56,163	合計(A)	148,561	148,225	197,874			49,649	
財源名称	社会資本整備総合交付金						従事正職員人数		1	1	1			
							延べ業務事務時間		800	1,000	1,500		500	
							人件費計(千円)(B)		2,737	3,362	5,003		1,641	
	最終予算額		204,388 千円	予算執行率		96.8%	トータルコスト(A+B)		151,298	151,587	202,877		51,290	

事業番号	06399	事務事業名	鏡野町多目的公園整備事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	---------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
子どもを安心して遊ばせることができ、幅広い年齢層の住民が憩いの場として気軽に体を動かすことのできる公園整備の要望が強くなっている。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
当初は防災公園整備であったが、整備予定地が50cm以下の浸水場所であり、多目的公園整備(付加価値として備蓄倉庫等を有した公園)となった。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
町民アンケートにおいて、地域住民からの公園整備の要望が多い。議会からも50cm以下の浸水場所であるためある程度嵩上げと緑ある公園整備との声がある。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 幅広い年齢層の方々が憩いの場として気軽に体を動かすことのできる公園を整備することは政策体系との整合性に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 町として、住民が憩いの場として気軽に体を動かすことのできる公園を提供するため適切である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 対象は住民であり適切である。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 多目的に活用できる公園として大型複合遊具を設置し、健康遊具も備え駐車場も十分確保できており目標水準に達している。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 幅広い年齢層の方々が憩いの場として気軽に体を動かすことのできる公園整備を中止することは影響が大きい。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 令和5年度完成予定に向けて計画的に工事を行っており改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 工事設計内容の削減余地はない。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 人件費(延べ業務時間)の削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 町民誰もが平等に利用することができるため、公平・公正である。	

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	令和5年度は、駐車場整備工事(東側)、緑化工事及び総合遊具の設置、その他案内看板やベンチの設置、スロープ整備等48の工事を実施。無事に工事は完了し、3月31日には落成式を挙行了した。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了	<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <p>令和6年4月の全面オープン後は、特定非営利活動法人「きらり鏡野」に管理を委託、他の体育施設同様に適切な管理をしてもらう。</p>																						
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

事業番号	事務事業名	資料保管庫整備事業	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06400	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	令和6年度に解体する文化伝習館の資料を保管する資料保管庫の新築を行う	文化資源保存伝習館は、旧羽出小学校校舎を改築した建物で、老朽化のため取り壊しが決定したが、2階にある資料を保管するための倉庫の建設が必要であったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 所蔵資料	ア 所蔵資料の数	点	見込 実績	2,200	2,200	2,200 2,200	1,200	1,200
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 保管倉庫を新築する	ア 新築する倉庫の数	点	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	0	0
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 新築工事を行う	ア 新築工事の数	回	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	0	0
イ 所蔵資料を移転する	イ 移転する資料の数	点	目標 実績 達成率			0 0 -	1,200	0

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		資料保管庫整備事業					
	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	06400
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財			45,000			45,000	その他特財			40,600			40,600	
一般財源			1,494			1,494	一般財源			5,231			5,231	
合計			46,494			46,494	合計(A)			45,831			45,831	
財源名称	合併特例債						従事正職員人数			2			2	
							延べ業務事務時間			500			500	
							人件費計(千円)(B)			1,668			1,668	
	最終予算額		46,494 千円	予算執行率	98.5%		トータルコスト(A+B)			47,499			47,499	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	6年度解体する伝習館所蔵の資料を移転させる場所がないため、倉庫を新たに新築するものである。収蔵資料は町の所蔵物であり、収蔵スペースも適切であるため、改善余地はない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野町多目的公園経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06401	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	木村 隆子
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	(仮称)鏡野町多目的公園の仮オープン部分の施設管理業務の委託料及び電気料金等の支払業務 施設管理の委託先:特定非営利活動法人 きらり鏡野	令和6年4月の全面オープンまでの間、仮オープンした部分(芝生広場と低学年向け遊具等)の芝刈りや草刈り、遊具の点検等管理が必要であるため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込 実績			11,627 12,116		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公園を安心・安全に利用してもらう	ア 苦情等の件数	件	目標 実績 達成率			0 2 -		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 委託契約	ア 委託契約数	件	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		
イ 経常経費等の支払	イ 支払い回数	回	目標 実績 達成率			12 12 100.0%		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		鏡野町多目的公園経常管理費					
	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			1,224			1,224	一般財源			761			761	
合計			1,224			1,224	合計(A)			761			761	
財源名称							従事正職員人数			2			2	
							延べ業務事務時間			20			20	
							人件費計(千円)(B)			67			67	
	最終予算額	1,224 千円		予算執行率	62.1%		トータルコスト(A+B)			828			828	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	特定非営利活動法人「きらり鏡野」に業務を委託、管理業務は適切に実施された。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野歴史資料館解体事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06421	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 5 年度~ 6 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	旧鏡野町歴史資料館の解体工事設計	旧鏡野町歴史資料館は、老朽化のため取り壊しが決定したため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 鏡野町歴史資料館	ア 鏡野町歴史資料館の数	棟	見込 実績	1	1	1	1	0
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 建物を解体撤去する	ア 撤去する建物の数	棟	目標 実績 達成率			0	1	0
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 解体工事の設計を行う	ア 解体工事の設計数		目標 実績 達成率			1	0	0
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		鏡野歴史資料館解体事業費						
								52	02						06421
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源			1,850			1,850	一般財源			1,694			1,694		
合計			1,850			1,850	合計(A)			1,694			1,694		
財源名称							従事正職員人数			2			2		
							延べ業務事務時間			200			200		
							人件費計(千円)(B)			667			667		
	最終予算額	1,850 千円		予算執行率	91.5%		トータルコスト(A+B)			2,361			2,361		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	老朽化した建物の撤去は必要である。5年度は撤去に伴う設計費の計上のみのため改善余地はない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	文化財保護経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06451	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	文化財保護法・鏡野町文化財保護条例・鏡野町文化財保護		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町指定文化財を適正に管理・保護し、町民に公開する。 ・文化財保護審議会の決定事項に基づいて、指定文化財案内看板・標柱の更新、災害等に係る被害状況の確認、草刈り、文化財補助金の交付、その他保護を行う。	昭和40年代頃より市町村で文化財保護委員会が発足し、地域の文化財を自治体で指定し、保護することが行われるようになった。町村合併により、それぞれの町村で行っていた保護業務の方法を統一し、現在に至る。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内の文化財	ア 指定文化財数	件	見込 実績	165 165	165 164	164 163	163	163
イ 文化財の所有者	イ 指定文化財の所有者数	人	見込 実績	165 165	164 164	164 163	163	163
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 郷土の文化財に関心を持つ者の数を増やす	ア 文化財出前講座開催回数	回	目標 実績 達成率	7 3 42.9%	5 4 80.0%	5 6 120.0%	5	5 120.0%
イ	イ 文化財出前講座参加者数	人	目標 実績 達成率	140 30 21.4%	100 75 75.0%	100 39 39.0%	100	100 39.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 文化財の調査研究、現地案内	ア 現地案内した回数	回	目標 実績 達成率	5 3 60.0%	5 2 40.0%	5 5 100.0%	5	5 100.0%
イ 指定文化財標柱の設置等維持管理業務	イ 草刈りの場所	箇所	目標 実績 達成率	2 3 150.0%	3 3 100.0%	3 2 66.7%	3	3 66.7%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 04		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		文化財保護費		文化財保護経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財	20	20	20	20	20	その他特財	35	26	77	20	20	51		
一般財源	1,677	2,228	1,739	1,629	1,629	-489	一般財源	1,345	2,056	1,419	1,629	1,629	-637	
合計	1,697	2,248	1,759	1,649	1,649	-489	合計(A)	1,380	2,082	1,496	1,649	1,649	-586	
財源名称	文化財報告書等販売収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2			
						延べ業務事務時間	500	500	500	500	500			
						人件費計(千円)(B)	1,711	1,681	1,668	1,668	1,668	-14		
	最終予算額		1,759 千円	予算執行率	85.0%		トータルコスト(A+B)	3,091	3,763	3,164	3,317	3,317	-600	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	町民の文化財への理解を深めるため、今後も講座や現地案内等を行う。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	文化財保護臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06452	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	文化財係	担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	文化財保護法・鏡野町文化財保護条例・鏡野町文化財保護条例施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	平成18年度に発掘調査を実施した一番丁場遺跡と29年度に実施した目崎城跡の出土遺物の整理作業を行うため、業者委託する。業者と本年度の業務範囲の確認を行い、金額を決定して委託契約を締結する。業者からの依頼があれば、作業の進め方等についての打ち合わせを行ったり、進捗状況の確認を行う。業務完了後は、検査を行い、支払業務を行う。	平成18年度以来、出土遺物の整理作業が未着手であったが、報告書刊行のため、作業を進める必要性があった。しかし、専門的な知識や技術を要するため、作業員の雇用は困難で、業者委託で実施することとなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 一番丁場遺跡出土遺物	ア 一番丁場遺跡出土遺物の量	箱	見込 実績	30 30	30 30	30 30	30	30
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 出土遺物の整理	ア 整理した出土遺物の量	箱	目標 実績 達成率	30 30 100.0%	30 30 100.0%	30 30 100.0%		
イ 出土遺物の図化	イ 図化した遺物の数	点	目標 実績 達成率	0 0 -	0 0 -	40 40 100.0%	100	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 打合せ	ア 打合せの回数	回	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	0 0 -	3 4 133.3%	3	
イ 現地の確認	イ 現地確認の数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	0 0 -	1 0 0.0%	1	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 04		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		文化財保護費		文化財保護臨時管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,991		2,000	2,491	2,000	一般財源	1,991		1,991	2,491	1,991			
合計	1,991		2,000	2,491	2,000	合計(A)	1,991		1,991	2,491	1,991			
財源名称	従事正職員人数						1		1	1	1			
	延べ業務事務時間						30		30	30	30			
	人件費計(千円)(B)						103		100	100	100			
	最終予算額	2,000 千円	予算執行率	99.5%	トータルコスト(A+B)		2,094		2,091	2,591	2,091			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	専門的な業務であるため、職員の手で進めていくのは困難で、他に方法がない。文化財保護の観点からも報告書刊行まで少しづつでも進めていく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	特別天然記念物緊急調査事業	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06469	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	文化財保護法	担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	文化財保護法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	オオサンショウウオ飼育施設の整備、捕獲調査及び一時飼育・隔離飼育(委託業務)、保護対策委員会の開催等	平成29年度に岡山県教育委員会の調査により、奥津地域の吉井川にチュウゴクオオサンショウウオ及びその交雑種が生息している事が明らかになったため、外来種・交雑種の隔離を目的として、30年度より国・県の補助により、町で実施することとなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア オオサンショウウオ	ア 吉井川上流に生息するオオサンショウウオ	頭	見込	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績		300	346		
イ チュウゴクオオサンショウウオ及びその交雑種	イ 外来種・交雑種の数(捕獲数)	頭	見込	10	10	10	10	10
			実績	12	8	18		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 交雑種を捕獲して隔離し、在来種の生態を守る	ア 捕獲した数	頭	目標	50	50	50	50	50
			実績	91	68	63		
			達成率	182.0%	136.0%	126.0%		126.0%
イ	イ 隔離飼育した交雑種の数	頭	目標	8	8	8	8	8
			実績	12	8	18		
			達成率	150.0%	100.0%	225.0%		225.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 捕獲調査及び飼育の委託	ア 捕獲調査及び飼育の委託団体数	団体	目標	2	2	2	1	1
			実績	2	2	1		
			達成率	100.0%	100.0%	50.0%		100.0%
イ 飼育施設の整備	イ 整備した飼育施設の数	箇所	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ 保護対策委員会の開催	ウ 会議の開催数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	2	1		
			達成率	0.0%	200.0%	100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 04		大事業 03		中事業 05		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		文化財保護費		03		05		特別天然記念物緊急調査事業		
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	06469	
国庫支出金	3,930	3,689	2,133			-1,556	国庫支出金	3,699	3,196	2,010			-1,186		
県支出金	500	500	500				県支出金	500	500	500					
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	3,321	3,190	1,697			-1,493	一般財源	3,271	2,696	1,645			-1,051		
合計	7,751	7,379	4,330			-3,049	合計(A)	7,470	6,392	4,155			-2,237		
財源名称	社会教育費国庫補助金 国宝重要文化財等保存整備費補助金					従事正職員人数		3	3	3					
	社会教育費県補助金 文化財保護等補助金					延べ業務事務時間		320	350	330			-20		
						人件費計(千円)(B)		1,095	1,177	1,101			-76		
	最終予算額		4,330 千円	予算執行率	95.9%		トータルコスト(A+B)		8,565	7,569	5,256			-2,313	

1枚目

事業番号	06469	事務事業名	特別天然記念物緊急調査事業	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	---------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
昨年度まではコンサルと地元団体の2者に業務委託をしていたが、本年度から地元団体のみに委託し、事業費の削減に努めた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
交雑種が確認された自治体・文化庁・環境省及び研究団体により、交雑問題検討会が開催され、調査の方法や特定外相生物指定の可能性などが議論された。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
DNA解析方法等について、解析方法を変える必要がある。また、今後も事業を継続する必要があるとの意見がある(文化庁)。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 特別天然記念物を保護し、後世に伝えるための事業であるため、結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> オオサンショウウオは国の特別天然記念物であるため、許可なく触ったり移動させることもできない。また、個人所有のものでもないため、行政が行うべき事業である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> チュウゴクオオサンショウウオ及びその交雑種の排除が目的で、それ以外の目的はないため妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 施設の規模、調査回数等を考慮しても、当分は現在のやり方で進めていくことが妥当。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 交雑種を排除しないまま本事業を廃止すれば、吉井川上流部において交雑種がさらに増えていくことになり、これまでの成果も無駄になってしまう。また、在来種の生態に大きな影響を与えることになるため、外来種・交雑種が確認できなくなるまでもしくは文化庁が何らかの方針を定めるまでは廃止・休止はするべきではない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 隔離飼育する交雑種の譲渡先が増えれば、飼育に係る負担は軽減できる	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 本年度から委託先を2団体から1団体に減らし、事業費の削減に努めており、さらなる削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 調査・飼育等は地元団体に委託にしており、事務作業や協議、計画などが主であるため、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 国特別天然記念物を扱う事業であるため、受益者が偏ることはない。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本年度からコンサルへの委託をやめたため、事業費の大幅な削減を行うことができた。ただ、現在までの成果から勘案すると、交雑種はまだ多く吉井川に生息している可能性が高く、当分の期間は本事業を継続する必要があると思われる。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 今後も長く継続していかなければならない事業であるため、多額の予算を一度に投入するのではなく、細く長く続けていく方法を検討していく必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
文化庁が事業の目標設定を行わない限り、終わりのない事業となってしまう。文化庁が自治体の実情を把握し、事業終了の目安を設定することが必要。																									

事業番号	事務事業名	無形民俗文化財補助金	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06493	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	鏡野町無形文化財保存継承事業費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町内の指定無形民俗文化財(布施社お田植祭・新町の地蔵踊り・羽出社のお田植祭)の活動に補助金を交付する。補助金申請書の受理・交付決定、実績報告書の受理、補助金の交付。	少子高齢化や過疎化による人口減少や近年のコロナ禍により開催が困難となっている町内の指定無形文化財の保存活動を支援し、後世に残していくため、活動費の一部を補助する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内の指定無形民俗文化財	ア 町内の無形民俗文化財の数	件	見込	3	3	3	3	3
			実績	3	3	3		
イ	イ 指定無形民俗文化財保存団体数	団体	見込	3	3	3	3	3
			実績	3	3	3		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 無形民俗文化財が後世に伝えられるような活動を行う	ア 布施社のお田植祭及び羽出社のお田植祭参加者数	人	目標	600	600	600	600	600
			実績	45	45	210		
			達成率	7.5%	7.5%	35.0%		35.0%
イ	イ 地蔵踊り参加者数	人	目標	350	350	350	200	200
			実績	22	80	150		
			達成率	6.3%	22.9%	42.9%		75.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 補助金の交付	ア 補助金の申請数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績	1	2	1		
			達成率	33.3%	66.7%	33.3%		33.3%
イ	イ 補助金交付決定の数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績	1	2	1		
			達成率	33.3%	66.7%	33.3%		33.3%
ウ	ウ	回	目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 04		大 07		中 01		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		文化財保護費		07		01		無形民俗文化財補助金			
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	06493		
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	120	120	120	120	120		一般財源	30	90	30	120	120	-60			
合計	120	120	120	120	120		合計(A)	30	90	30	120	120	-60			
財源名称							従事正職員人数	1	2	2	2	2				
							延べ業務事務時間	6	10	6	6	6	-4			
							人件費計(千円)(B)	21	34	20	20	20	-14			
	最終予算額	120 千円	予算執行率		25.0%		トータルコスト(A+B)	51	124	50	140	140	-74			

1枚目

事業番号	06493	事務事業名	無形民俗文化財補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を行いながら、例年どおり開催している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
補助金の支払いに関する事務のみであるため、改善するほどの事務量は無い。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
今後も引き続き補助を行ってほしいとの要望がある。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 町内の指定無形民俗文化財の保存活動への補助であり、地域文化の推進に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 町内の指定無形民俗文化財の保存活動への補助であり、妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 無形民俗文化財の保存活動に対しての補助であり、妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 地域住民により継承されている文化財であるため、現行のままで良い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 鏡野町を代表する伝統文化であり、保存活動に少なからず影響がある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 地域住民により継承されている文化財であるため、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 無形民俗文化財の保存活動に対する補助であり、補助額も最低限であるため、削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 業務は補助金の事務程度であり、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 伝統文化保存のための活動費の補助であり、公平である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																								
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を行いながら、例年どおり開催されるようになった。 鏡野町内の伝統文化を保存・継承するために、今後も補助を行う必要がある。																								
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																								
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 特になし	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																										
特になし		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																								

事業番号	事務事業名	保健体育総務経常管理費			所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則	
06552	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	34	生涯スポーツの推進			根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・スポーツ振興施策全般に係る事務事業 ・研修会・会議への出席・諸会議の通知・開催 ・スポーツ用具等の購入・スポーツ少年団登録事務など	従来よりスポーツ振興施策と推進の基盤となる各種事務を行ってきた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627		
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 体力維持・向上・精神的快適さを保つ	ア 体育施設全体の利用者数	人	目標	111,000	111,000	111,000		
			実績	42,787	82,817	84,221		
			達成率	38.5%	74.6%	75.9%		
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア スポーツ大会・研修会の案内	ア 案内状の送付	部	目標	560	560	560		
			実績	463	420	420		
			達成率	82.7%	75.0%	75.0%		
イ			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 01		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		保健体育総務費		保健体育総務経常管理費					
3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財		1	1			その他特財								
一般財源	1,050	1,041	1,159			一般財源	421	432	761			329		
合計	1,050	1,042	1,160			合計(A)	421	432	761			329		
財源名称	体育振興雑入				従事正職員人数			3	2	2				
					延べ業務事務時間			400	400	400				
					人件費計(千円)(B)			1,368	1,345	1,334		-11		
	最終予算額		1,160 千円		予算執行率		65.6%		トータルコスト(A+B)		1,789	1,777	2,095	318

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	各種活動に制限がなくなってきて、活発な活動ができる団体が増加傾向にある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野町スポーツ協会補助金			所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則	
06565	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	34	生涯スポーツの推進			根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町スポーツ協会の事務局を担う。総会の開催、町協会所属の専門部への補助金交付、大会案内、大会結果報告、体協ニュース発刊を行う。	町民がスポーツに親しみ、スポーツ活動を通じての健康と交流を促進するため、スポーツ協会に活動支援として補助金交付を行ってきた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 所属専門部数	人	見込	14	14	14	14	14
			実績	14	14	14		
イ	イ 会員数	人	見込	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績	854	834	783		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 各種スポーツの底辺拡大を図り、住民の健康を維持してもらう	ア 延べ大会参加者数	人	目標	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
			実績	1,045	1,317	2,305		
			達成率	40.2%	50.7%	88.7%		88.7%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 役員会、総会の開催	ア 会議回数	回	目標	7	7	7	7	7
			実績	7	6	14		
			達成率	100.0%	85.7%	200.0%		200.0%
イ 主管大会の開催	イ 大会開催回数	回	目標	30	30	30	30	30
			実績	7	31	43		
			達成率	23.3%	103.3%	143.3%		143.3%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 01		中事業 03		中事業 01		事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		保健体育総務費		鏡野町スポーツ協会補助金		06565		
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	1,864	1,864	1,864				一般財源	1,864	1,864	1,864			
合計	1,864	1,864	1,864				合計(A)	1,864	1,864	1,864			0
財源名称							従事正職員人数	2	2	2			
							延べ業務事務時間	300	400	400			
							人件費計(千円)(B)	1,026	1,345	1,334			-11
	最終予算額	1,864 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		2,890	3,209	3,198				-11

事業番号	06565	事務事業名	鏡野町スポーツ協会補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
会員(部員)の高齢化が進み、会員数の減少とスポーツの多様化が見られる。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
補助金の用途及び報告において明確化し、活動等に関する助言を行った。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
継続的な活動を行うにあたり、補助金交付額及び用途の拡大を望む声がある。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	スポーツ協会の多くの部は交付される補助金が活動資金の多くを占めており、町からのスポーツ協会への支援がなくなれば運営及び活動ができない可能性が高い。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	各部の大会運営資金として補助金を交付しており、スポーツ協会活動において町が関与する部分を精査する必要はあるが、補助金交付及び事務局等の関与がなければ、現状ではスポーツ協会運営が立ち行かない。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	主に町民で構成された団体であり適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	各部の活動は長年継続されたものであり、会員の募集等が行えていない部もあるため会員の高齢化及び減少が続いており、新規会員の確保が必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	スポーツ協会の補助金廃止は町のスポーツ推進及びスポーツ大会の運営等に多大な影響があり、所属会員等により独自運営が困難である。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	スポーツ人口の増加及び活性のため、関連団体の活動と相互に補完し合い、協力する必要がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	活動及び会計の明確化及び透明化を図り、補助金の適正使用を徹底し、活動費の自主財源確保を検討することで補助金の依存割合が低減することが可能。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	他市町村(都市部など)では、法人化し独自運営を行っており、事務局を委託できる団体があれば人件費は大きく削減できる。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	スポーツ協会は町民(スポ少以外)が誰でも加入できる町内唯一のスポーツ団体であり、その活動はスポーツ振興に結び付いていることから、公平公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	これまで長く続く町唯一の社会人主体のスポーツ団体であり、鏡野町のスポーツ振興の根幹である。 しかし今後、会員の高齢化及び減少に伴い規模が縮小する可能性があるため新規会員及び若年層の加入促進が必要である。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 各部で会員の増加と若返り促進及び運営資金(補助金)の適正化を図る。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
競技種目の多様化に対応し、加入しやすい環境を整備する。																									

事業番号	事務事業名	スポーツ少年団補助金	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06566	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者 福田 壮一郎
	施策名	34	生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町スポーツ少年団への活動補助金を交付する。団員のスポーツ安全保険加入・総会・結団式の開催。団員登録・認定指導者講習会案内・スポーツ少年団大会案内を行う。(1団体・7協議会で構成)	昭和39年、町内各地域でのスポーツを通じた小・中学生の健全育成を目的にスポーツ少年団活動が始められ、行政の財政支援が開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内の小中学校の児童・生徒数	ア 小学校の児童	人	見込 実績	650 658	640 624	640 624	640	640
イ	イ 中学校の生徒	人	見込 実績	320 314	310 343	310 321	310	310
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 小学生・中学生にスポーツを行うことで健全に育ててもらおう	ア 団員登録数(小学生・中学生)	人	目標 実績 達成率	220 213 96.8%	220 195 88.6%	220 170 77.3%	220	220
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 団員登録	ア 団員登録者数	人	目標 実績 達成率	230 213 92.6%	230 195 84.8%	220 170 77.3%	220	220
イ スポーツ保険加入事務	イ 安全保険加入者数	人	目標 実績 達成率	280 244 87.1%	270 220 81.5%	260 258 99.2%	260	260
ウ	ウ		目標 実績 達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 01		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		保健体育総務費		03	02	スポーツ少年団補助金					06566
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	1,702	1,702	1,702				一般財源	1,564	1,702	1,702						
合計	1,702	1,702	1,702				合計(A)	1,564	1,702	1,702				0		
財源名称							従事正職員人数	2	1	1						
							延べ業務事務時間	60	80	80						
							人件費計(千円)(B)	205	269	267				-2		
	最終予算額	1,702 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	1,769	1,971	1,969				-2		

1枚目

事業番号	06566	事務事業名	スポーツ少年団補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 少子化に加えてクラブチーム等へ所属する児童も増加し、団員数が減少して協議会によっては存続が難しい場合もある。また、指導者も不足傾向にあり、その中で指導者資格制度が変更になるなど年々仕組みが複雑化している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 単位団を統一し、複合団として行政が総合事務局を持っており、保護者及び代表者の負担軽減を行った。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 小学生のスポーツの機会の確保及び健全育成に寄与するため、継続的な財政支援が不可欠である声が主流である。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <b>理由説明</b> 小中学生のスポーツを通じた健全育成及びスポーツ振興を目的としており、政策体制に結びついている。 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている		
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <b>理由説明</b> 町内の小中学生が主な対象であり、助成金等により加入を断念する要因を削減しているため妥当である。 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <b>理由説明</b> 町内の小中学生を主な対象としており妥当である。 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <b>理由説明</b> 地域によっては団員及び指導者が減少し十分な活動ができないケースがある。岡山県が主導している事業等を活用し指導者等の掘り起こしによって連携を強化し活動の充実を図る余地がある。 <input type="checkbox"/> 目標水準に達している		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?) <input type="checkbox"/> 影響がない <b>理由説明</b> 廃止した場合、各協議会の活動が著しく低下し受益者負担が増加するため小学生等のスポーツの機会が減少する可能性が高い。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある		
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <b>理由説明</b> 鏡野町スポーツ少年団の取り組みは各地区クラブ・運営方法等は永い運営の中で精査されているが、その取り組む環境が大きく変革している時期であるため即応性を高める組織作りが必要である。 <input type="checkbox"/> 改善余地がない		
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <b>理由説明</b> 本事業はスポーツ少年団への補助金事業であり、その用途はスポーツ少年団内で決められている。また、余剰がある場合は補助金の返還を求めており削減の余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <b>理由説明</b> スポーツ協会と同様に、委託できる団体があれば人件費の削減はできる。 <input type="checkbox"/> 削減余地がない		
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <b>理由説明</b> スポーツ少年団活動の実態に沿った補助金交付がされており、配分額も団員数に合わせて行っているため、公平である。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	少子化に伴い、登録団員数は緩やかに減少しており、スポーツ少年団でなく各種目クラブへ所属する児童等も増加している。このことから、成果指標を団員数ではなく加入率等で判断する必要がある。今後は、加入率の向上に加え指導者の確保が必要であり、スポーツ少年団の役割及び取り組み状況が大きく変革しているため組織運営の在り方を検討する必要がある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 指導者の確保を継続的にいき、これに伴って種目を増やすことで児童等へ選択の機会を創出する。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
指導者の確保は継続的にしているが、既存指導者からの紹介又は競技経験のある保護者が自らの子が在団する間のみ指導する場合がほとんどである。新種目の設置については、児童等のニーズを把握する必要がありこれに伴う既存協議会の補助金配分額の減少が懸念される。																									

事業番号	事務事業名	かがみのマラソン大会事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06570	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・小学生から高齢者まで幅広く参加できるマラソン大会で毎年11月第3日曜日に開催されてきた。令和5年度も昨年度と同じく奥津湖周辺を会場に実施。 ・令和4年度から、より参加者層を広げるためウオーキング大会も同時開催している。 ・令和5年度の新規取組みとしてキッチンカー出店を募集し、大変好評であった。また餅投げや豚汁の無料提供も再開させた。	この大会の前身は町村合併前の「鏡野健康マラソン大会」で、令和5年度大会は通算では35回目(37年間)の大会である。鏡野町を全国にアピールすることを主眼として、町体育協会(現:スポーツ協会)が中心となって開始されたものである。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 大会参加者	ア 参加申込総数	人	見込 実績	900 0	600 501	1,200 621	1,200	1,200
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア スポーツの楽しさを知ってもら	ア 大会実参加者数	人	目標 実績 達成率	850 0 0.0%	540 500 92.6%	1,200 579 48.3%	1,200	1,200 48.3%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 大会開催	ア 開催回数	回	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 07 保健体育費		目 01 保健体育総務費		04 01 かがみのマラソン大会事業費		事業番号 06570		
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財		1,065	2,175			1,110	その他特財			1,682			1,682
一般財源	414	6,968	7,718			750	一般財源	413	7,913	8,145			232
合計	414	8,033	9,893			1,860	合計(A)	413	7,913	9,827			1,914
財源名称	イベント参加料						従事正職員人数	2	1	1			
							延べ業務事務時間	600	1,500	1,500			
							人件費計(千円)(B)	2,053	5,043	5,003			-41
	最終予算額		9,893 千円	予算執行率	99.3%		トータルコスト(A+B)	2,466	12,956	14,830			1,874

事業番号	06570	事務事業名	かがみのマラソン大会事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	---------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
若年層の参加者が減少傾向にある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
会場を吉田ダムへ変更し、交通規制のトラブル及びスタッフ数の削減ができた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
永く続く大会であり、継続希望の声は多い。しかし、スタッフ等の高齢化も伴って協力体制が難しくなっている。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由 説明</b> 町民の参加割合に加え、若年層の参加率が低下していることから見直しの余地がある。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由 説明</b> 町内に本事業を委託できる組織は存在せず、その他の大規模スポーツイベントでも町が関与していることから町の関与が必要である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	<b>理由 説明</b> 規模や対象、また実施時期や開催場所等を見直す余地がある。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由 説明</b> 老若男女が参加しやすい種目及び内容を精査することで、成果向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由 説明</b> 町内では最大規模のスポーツイベントであり、廃止した場合、町主催のスポーツイベントがなくなるため、代替等を検討しない場合は影響がある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由 説明</b> 令和4年度以降会場を変更したことにより運営及びスタッフ数の改善を行い、一定の改善はあったが今後回数を重ねることによるさらなる改善が見込める。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由 説明</b> 大会運営スタッフはスポーツ協会、町職員等が最大限参加しており、スポーツイベントとしての安全性を最低限確保することに加え、物価高騰の影響もあり削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由 説明</b> 本事業の準備・運営は委託可能な業務はすでに委託しており削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由 説明</b> 本事業の対象は町民であるが、町民の割合が3割未満であることから見直しの余地はある。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	会場を変更し以前からの懸念事項である、交通規制及びスタッフ数の改善を行った。今後回数を重ねること、運営方法、事業費等が精査される見込みがある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 開催時期や会場等を再検討することで改善できる部分があると考えている。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
目的(趣旨)の設定は、主催のみでなく主管団体であるスポーツ協会との協議が必要であり物価高騰の影響がある中で予算との整合性を見直す必要がある。																									

事業番号	事務事業名	各種スポーツ大会事業費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06573	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・スポーツの全国大会(国際大会)に出場する選手に激励金を支給する事業であり、壮行式を行い激励金を贈呈する ・スポーツ推進委員が主催するスポーツ大会の開催	・国体や全国選手権大会・インターハイなどの大会に出場する町内在住の選手の健闘を激励するために開始 ・ニュースポーツ普及のためスポーツ推進委員主催のスポーツ大会を平成9年から開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	町民	→	ア	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
					実績	12,497	12,358	12,116		
イ	全国大会出場者	→	イ	人	見込	35	35	35	35	35
					実績	8	16	16		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	ニュースポーツの楽しさを知ってもらう	→	ア	人	目標	450	450	450	450	450
					実績	69	91	130		
					達成率	15.3%	20.2%	28.9%		28.9%
イ	大会出場者の競技意欲の向上を図る	→	イ	人	目標	5	5	5	5	5
					実績	0	0	0		
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	各地域でのニュースポーツ指導開催	→	ア	回	目標	20	20	20	20	20
					実績	3	4	6		
					達成率	15.0%	20.0%	30.0%		30.0%
イ	激励金贈呈	→	イ	人	目標	35	35	35	35	35
					実績	7	15	16		
					達成率	20.0%	42.9%	45.7%		45.7%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 07 保健体育費		目 01 保健体育総務費		予算上の事業名 各種スポーツ大会事業費					事業番号 06573
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	20	20	20				その他特財			5			5	
一般財源	120	420	320			-100	一般財源	80	180	252			72	
合計	140	440	340			-100	合計(A)	80	180	257			77	
財源名称	イベント参加料						従事正職員人数		2	1	1			
							延べ業務事務時間		20	20	20			
							人件費計(千円)(B)		68	67	67		-1	
	最終予算額		340 千円	予算執行率		75.5%	トータルコスト(A+B)		148	247	324		76	

1枚目

事業番号	06573	事務事業名	各種スポーツ大会事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナの影響が少なくなり、各種大会参加者、ニュースポーツ指導依頼ともに増加傾向にある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
スポーツ推進委員の活動について広報紙等で認知度の向上を図った。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
学校単位の交流会で指導を行い好評だった。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由 説明</b> 本事業は全国大会出場者の激励及びニュースポーツ指導を通して町民にスポーツ啓発を行うことが目的であるため政策体系と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由 説明</b> 町内選手の活動支援及び広報は行政が行う必要がある。また、健康づくり、スポーツ推進はスポーツ推進委員が担う旨がスポーツ基本法に規定されており、行政が関与する必要がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由 説明</b> 全国大会(国際大会)の出場者及び町内団体の希望者が対象であり妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由 説明</b> 激励金の支給は壮行式を行い広く周知してスポーツへの関心を高めている。スポーツ推進委員の活動はコロナ禍で活動が制限された中のためできる範囲での活動を最大限行った。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由 説明</b> 町民のスポーツへの関心及び取り組み意欲の向上が損なわれる恐れがあり、影響がある。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由 説明</b> 全国大会への出場は選手の力量によることであり、スポーツ推進委員活動は各委員可能な限り積極的に参加しているため、改善余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由 説明</b> 激励金の額及びスポーツ大会等の事業費は、必要資材で不足するものは借用するなどして行っており削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由 説明</b> 壮行式等は簡素なものであり、スポーツ推進委員は規則で定められた報酬を支払い、活動及び指導依頼は無償のため削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由 説明</b> 内規及び規則に基づいて事業を行い、町内選手が対象のため公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	全国大会出場者激励金は制度を初めて聞いた方も多いため今後周知が必要。 新型コロナの影響が少なくなり激励金及びスポーツ指導の申請は増加傾向にある。スポーツ指導依頼が平日が多く対応できる人員が限られている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<b>今後の改革改善案</b> 全国大会出場者激励金は広報を行い町民に広く周知する。 スポーツ推進委員の活動においても事業の認知が低いいため今後、自粛等の緩和に伴い指導依頼が増加する可能性があることから、広く周知する。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
両事業とも認知度の向上のため、広報紙等による周知を積極的に行う。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	体育施設共通臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06601	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	鏡野町指定管理施設事業継続支援給付金事業実施要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	公共公益施設の指定管理者に対して令和6年度以降における指定管理業務継続を目的として給付金を交付する。	エネルギー価格等の高騰により影響を受ける指定管理者に対して令和6年度以降における指定管理業務継続を目的として給付金を交付する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 指定管理施設	ア 指定管理施設	施設	見込 実績			10 10		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 指定管理施設の業務継続	ア 給付金の交付施設		目標 実績 達成率			10 10 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	ア		目標 実績 達成率					
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		体育施設共通臨時管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金		2,898			2,898	国庫支出金			2,898			2,898		
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源		305			305	一般財源			305			305		
合計		3,203			3,203	合計(A)			3,203			3,203		
財源名称	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				従事正職員人数				1			1		
					延べ業務事務時間				40			40		
					人件費計(千円)(B)				133			133		
	最終予算額	3,203 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)				3,336			3,336		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	エネルギー価格等の高騰により影響を受ける指定管理者に対して、令和6年度以降の事業継続のための支援となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野地区体育施設経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06602	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法、指定管理者条例、体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	●鏡野地区体育施設の指定管理業務 ・鏡野町文化スポーツセンター ・B&G海洋センター ・鏡野ドーム ・テニスコート ・総合グラウンド ・スポーツロッジ ●鏡野町指定管理施設事業継続支援補助金の交付。	平成22年度より民間活力の導入による施設利用の効率化と利用者へのサービス向上を図るため指定管理者制度を導入した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,116		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 快適に利用してもらう	ア 施設利用者数	人	目標	35,000	40,000	45,000	60,000	80,000
イ	イ		実績	34,344	72,710	84,364		
			達成率	98.1%	181.8%	187.5%		105.5%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 体育施設の維持管理	ア 稼働率(主要施設)	%	目標	60	60	60	60	60
イ	イ		実績	56	43	50		
			達成率	93.7%	71.7%	83.3%		83.3%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		鏡野地区体育施設経常管理費						
									01	03					
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	33,525	37,862	36,625			-1,237	一般財源	33,525	36,638	36,625			-13		
合計	33,525	37,862	36,625			-1,237	合計(A)	33,525	36,638	36,625			-13		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						157	157	157	157	157				
	人件費計(千円)(B)						537	528	524	524	524		-4		
	最終予算額 36,625 千円						予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		34,062	37,166	37,149	524	524

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	コロナ禍の影響も少なくなり、利用者数等は以前に戻ってきた。 エネルギー価格の高騰により影響を受ける指定管理者に、次年度以降の業務継続のために、指定管理施設事業継続支援給付金を支給した。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野多目的屋内運動場臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06610	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法、指定管理者条例、体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野多目的屋内運動場の火災警報器の修繕、水道メーターの新設及び門扉設置工事。	鏡野町多目的屋内運動場の火災警報器に不備あり、修繕の必要があった。また、水道メーター及び門扉施設改修の必要があったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	イ		実績	12,497	12,358	12,166		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 快適に利用してもらう	ア 施設利用者数	人	目標	35,000	40,000	45,000	60,000	80,000
イ	イ		実績	34,344	72,710	84,364		
			達成率	98.1%	181.8%	187.5%		105.5%
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 体育施設の維持管理	ア 稼働率(主要施設)	%	目標	60	60	60	60	60
イ	イ		実績	56	43	50		
			達成率	93.7%	71.7%	83.3%		83.3%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 07 保健体育費		目 02 体育施設費		予算上の事業名					事業番号
	01		10		07		02		鏡野多目的屋内運動場臨時管理費					
														06610
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			1,663			1,663	一般財源			1,662			1,662	
合計			1,663			1,663	合計(A)			1,662			1,662	
財源名称							従事正職員人数			1			1	
							延べ業務事務時間			15			15	
							人件費計(千円)(B)			50			50	
	最終予算額	1,663 千円		予算執行率	99.9%		トータルコスト(A+B)			1,712			1,712	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	火災警報器の不備の改善等のを行い、施設の安全性の向上を図った。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	B&G海洋センター臨時管理費			所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則	
06614	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34	生涯スポーツの推進			根拠法令等	スポーツ基本法、指定管理者条例、体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	・B&G海洋センターろ過循環ポンプの修繕工事。 ・B&G海洋センターの電灯改修工事(LED化)。	ろ過循環ポンプの老朽化のための修繕工事。電灯をLED化するための設備改修工事。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア B&G海洋センター利用者		ア 利用者数	人	見込	14,000	16,000	16,000	16,000	16,000
イ		イ		実績	12,962	16,706	17,531		
				見込					
				実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア B&G海洋センター利用者		ア 利用者数	人	目標	14,000	16,000	16,000	16,000	16,000
イ		イ		実績	12,962	16,706	17,531		
				達成率	92.6%	104.4%	109.6%		109.6%
				目標					
				実績					
				達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 稼働日数		ア 稼働日数	日	目標	230	240	240	240	240
イ		イ		実績	212	267	268		
				達成率	92.2%	111.3%	111.7%		111.7%
				目標					
				実績					
				達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 07 保健体育費		目 02 体育施設費		予算上の事業名					事業番号
	01		10		07		02		B&G海洋センター臨時管理費					
														06614
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	1,327	753	12,647		11,894	一般財源	1,326	753	11,104			10,351		
合計	1,327	753	12,647		11,894	合計(A)	1,326	753	11,104			10,351		
財源名称					従事正職員人数		1	1	1					
					延べ業務事務時間		14	14	20			6		
					人件費計(千円)(B)		48	47	67			20		
	最終予算額		12,647 千円	予算執行率		87.7%	トータルコスト(A+B)		1,374	800	11,171		10,371	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設・設備等、老朽化してきており計画的な修繕が必要となっている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津運動公園臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06616	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法、指定管理者条例、体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・奥津運動公園内の立木の伐採撤去作業。 ・奥津運動公園揚水ポンプ取替え工事及びポンプ室改修工事。	奥津運動公園内の危険な立木の撤去及び揚水ポンプの取替え、ポンプ室の改修が必要のため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津運動公園利用者数	ア 利用者数	人	見込 実績	1,000 1,164	1,200 1,867	1,200 1,518	1,200	1,200
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 奥津運動公園利用者数	ア 利用者数	人	目標 実績 達成率	1,000 1,164 116.4%	1,200 1,867 155.6%	1,200 1,518 126.5%	1,200	1,200 126.5%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 指定管理契約	ア 契約数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 07 保健体育費		目 02 体育施設費		予算上の事業名 奥津運動公園臨時管理費					事業番号
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	786	1,116	3,658			2,542	一般財源	786	1,115	3,658			2,543	
合計	786	1,116	3,658			2,542	合計(A)	786	1,115	3,658			2,543	
財源名称	従事正職員人数						1	1	1					
	延べ業務事務時間						15	15	15					
	人件費計(千円)(B)						51	50	50				-0	
	最終予算額	3,658 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	837	1,165	3,708			2,543	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設・設備等、老朽化してきており計画的な修繕が必要となっている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津町民体育館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06618	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法・指定管理者条例・体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	奥津町民体育館改修工事に関する経費	奥津町民体育館は施設完成後大幅な改修工事を行っておらず、内・外装とも経年劣化が進んできている。そのため伴い改修及び照明のLED化工事を実施。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	
イ	→	イ 奥津地区人口	人	実績	12,497	12,358	12,116		
				見込	1,200	1,200	1,150	1,150	1,150
				実績	1,189	1,147	1,099		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民にスポーツへ取り組んでもらう	→	ア 施設利用者	人	目標	1,950	1,000	2,100		
イ	→	イ		実績	2,283	2,182	1,689		
				達成率	117.1%	218.2%	80.4%		
				目標					
				実績					
				達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 委託契約	→	ア 委託数	件	目標	1	1	1		
イ	→	イ		実績	1	1	1		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
				目標					
				実績					
				達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 07 保健体育費		目 02 体育施設費		予算上の事業名					事業番号
	01 一般会計		10 教育費		07 保健体育費		02 体育施設費		奥津町民体育館臨時管理費					
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	
国庫支出金		85,000	50,000			-35,000	国庫支出金			50,000			50,000	
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	7,896	12,509	29,867			17,358	一般財源	7,260	85,095	28,315			-56,780	
合計	7,896	97,509	79,867			-17,642	合計(A)	7,260	85,095	78,315			-6,780	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1				
							延べ業務事務時間	50	50	50				
							人件費計(千円)(B)	171	168	167			-1	
	最終予算額		79,867 千円	予算執行率		98.0%	トータルコスト(A+B)	7,431	85,263	78,482			-6,781	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設・設備等、老朽化がきており計画的な修繕が必要となっている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富運動公園経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06625	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法・体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	富運動公園(グラウンド・管理棟・屋外トイレ)の維持管理、貸出し業務を行なう。施設の維持管理(グラウンドの除草・整地、傾斜地の草刈・管理棟の掃除、屋外トイレ清掃(管理委託)・水道施設の保守管理)及び管理等で生じた経費の支払事務。 平成29年度から地域のSP団体に管理委託している。	富地区のスポーツ振興や健康づくり、交流行事の拠点として昭和60年清水地区に現在の施設を開設した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町内人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
			実績	12,497	12,358	12,166		
イ	イ 富地域人口	人	見込	550	540	530	530	520
			実績	545	528	512		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民にスポーツへ取り組んでもらう	ア 施設利用者	人	目標	320	320	320	700	700
			実績	280	448	719		
			達成率	87.5%	140.0%	224.7%		102.7%
イ	イ 施設利用回数	回	目標	40	40	40	70	70
			実績	35	58	80		
			達成率	87.5%	145.0%	200.0%		114.3%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 各種スポーツの練習・試合	ア 施設利用回数	回	目標	40	40	40	70	70
			実績	35	58	80		
			達成率	87.5%	145.0%	200.0%		114.3%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		富運動公園経常管理費					
3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財	14	14	14	14	14	その他特財	16	8	10	14	14	2		
一般財源	1,317	981	713	625	625	-268	一般財源	1,281	792	618	625	625	-174	
合計	1,331	995	727	639	639	-268	合計(A)	1,297	800	628	639	639	-172	
財源名称	富運動公園利用料					従事正職員人数	1	1	1	1	1			
						延べ業務事務時間	18	20	20	20	20			
						人件費計(千円)(B)	62	67	67	67	67	-1		
	最終予算額		727 千円	予算執行率	86.3%		トータルコスト(A+B)	1,359	867	695	706	706	-173	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	富地区の運動公園として地域の方の活用が主である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原地区体育施設経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06627	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法・指定管理者条例・体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	上齋原地区体育施設指定管理に伴う諸事務 ・上齋原観光スポーツ施設 ・上齋原屋内ゲートボール場 鏡野町指定管理施設事業継続支援補助金の交付	従来から施設管理を受託し、十分な管理ノウハウを持つ地元団体の活力導入による施設利用活性化を図るため、平成23年度から指定管理制度導入の準備を進め、平成23年12月議会において可決、平成24年度より指定管理体制へ移行した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	町民	→	ア	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
					実績	12,497	12,358	12,116		
イ		→	イ	人	見込	510	500	495	495	470
					実績	517	496	469		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	町民にスポーツへ取り組んでもらう	→	ア	人	目標	4,900	5,200	5,200	5,200	4,500
					実績	3,457	4,247	2,908		
					達成率	70.6%	81.7%	55.9%		64.6%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア	各種スポーツの練習・試合	→	ア	回	目標	280	320	320	320	300
					実績	300	288	257		
					達成率	107.1%	90.0%	80.3%		85.7%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		上齋原地区体育施設経常管理費					
	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	
	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	7,198	10,000	7,992			-2,008	一般財源	7,197	8,829	7,992			-837	
合計	7,198	10,000	7,992			-2,008	合計(A)	7,197	8,829	7,992			-837	
財源名称			従事正職員人数		1	1	1	1	1					
			延べ業務事務時間		64	64	64	64	64					
			人件費計(千円)(B)		219	215	213	213	213				-2	
	最終予算額		7,992 千円	予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)		7,416	9,044	8,205	213	213	-839

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	国民宿舎いつきが閉館し、合宿での利用がなくなり利用人数が減少した。 エネルギー価格の高騰により影響を受ける指定管理者に、次年度以降の業務継続のために、指定管理施設事業継続支援給付金を支給した。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津地区体育施設経常管理費			所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06628	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名	担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34	生涯スポーツの推進			根拠法令等	スポーツ基本法・指定管理者条例・体育施設条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	奥津地区体育施設指定管理に伴う諸事務 ・奥津運動公園 ・奥津町民体育館	従来から施設管理を受託し管理ノウハウを持つ地元団体の活力導入による施設利用活性化をはかるため、平成26年度から指定管理制度導入の準備を進め、平成27年度から指定管理体制へ移行した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	11,970	11,800	11,627	11,455	11,280
イ	→	イ 奥津地区人口	人	実績	12,497	12,358	12,116		
				見込	1,200	1,200	1,150	1,150	1,150
				実績	1,189	1,147	1,099		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民にスポーツへ取り組んでもらう	→	ア 施設利用者	人	目標	1,950	1,000	2,100	2,100	2,100
イ	→	イ		実績	2,283	2,182	1,689		
				達成率	117.1%	218.2%	80.4%		80.4%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 各種スポーツの練習・試合	→	ア 施設利用回数	回	目標	50	30	65	65	
イ	→	イ		実績	85	70	66		
				達成率	170.0%	233.3%	101.5%		-

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 教育費		10 項 保健体育費		07 目 体育施設費		02 大事業 中事業 01 74		予算上の事業名 奥津地区体育施設経常管理費					事業番号 06628
	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	3,840	3,840	3,859	3,840	3,840	19	一般財源	3,840	3,840	3,859	3,840	3,840	19			
合計	3,840	3,840	3,859	3,840	3,840	19	合計(A)	3,840	3,840	3,859	3,840	3,840	19			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1					
	延べ業務事務時間						52	52	52	52	52					
	人件費計(千円)(B)						178	175	173	173	173	-1				
	最終予算額	3,859 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	4,018	4,015	4,032	4,013	4,013	18			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	奥津町民体育館の改修工事もあり、利用者数は少なかった。 エネルギー価格の高騰により影響を受ける指定管理者に、次年度以降の業務継続のために、指定管理施設事業継続支援給付金を支給した。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	塚谷公園経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06629	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法 鏡野町立公園等条例	鏡野町立公園等条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・平成16年度に整備された塚谷150番地の塚谷公園の維持管理を行う業務。 ・日常の管理は、グラウンドゴルフ塚谷管理会に委託し、修繕等は協議して行う。	・平成16年度に、周辺住民の生涯スポーツの拠点として整備された。 ・平成17年度より鏡野町が維持管理を行っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民	人	見込 実績	11,970 237	11,800 12,358	11,627 12,116	11,600	
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯スポーツの活動拠点として活用してもらう	ア 利用日数	日	目標 実績 達成率	190 85 44.7%	190 89 46.8%	190 97 51.1%	190	
イ	イ 利用人数	人	目標 実績 達成率	3,200 1,968 61.5%	3,200 2,038 63.7%	3,200 2,386 74.6%		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公園の管理・運営	ア 開園日数	日	目標 実績 達成率	358 313 87.4%	296 301 101.7%	296 306 103.4%	296	
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		塚谷公園経常管理費					
3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比	決算 (千円)	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 見込	7 年度 見込	前年比		
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町 債						町 債								
その他特財	900	770	900		130	その他特財	1,175	1,002	633			-369		
一般財源	1,175	1,086	1,039		-47	一般財源	205	331	717			386		
合計	2,075	1,856	1,939		83	合計(A)	1,380	1,333	1,350			17		
財源名称	協働のまちづくり推進助成金				従事正職員人数		1	1	1					
					延べ業務事務時間		50	50	50					
					人件費計(千円)(B)		171	168	167			-1		
	最終予算額		1,939 千円		予算執行率		69.6%		トータルコスト(A+B)		1,551	1,501	1,517	16

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	これまで個人との委託契約を行っていたが、高齢化により継続して業務を行うことが難しく
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	なっていたため、地縁団体と契約を行った。構成員は高齢傾向ではあるが、所属人数が多いため分担して委託管理を行えている。
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	健康づくり公園経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06631	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・平成16年度に整備された上森原298番地の健康づくり公園の維持管理を行う業務。 ・日常の管理は、上森原地区に委託し、修繕等は協議して行う。	・平成16年度に、周辺住民の生涯スポーツの拠点として整備された。 ・平成17年度より鏡野町が維持管理を行っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口		見込	11,970	11,843	11,627	11,600	
			実績	12,497	12,358	12,116		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 生涯スポーツの活動拠点として活用してもらう	ア 利用日数	日	目標	130	125	125	125	
			実績	119	74	55		
			達成率	91.5%	59.2%	44.0%		
イ	イ 利用人数	人	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	
			実績	1,592	1,449	966		
			達成率	79.6%	72.5%	48.3%		

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 公園の管理・運営	ア 開園日数	日	目標	306	296	296	296	
			実績	313	311	310		
			達成率	102.3%	105.1%	104.7%		
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名					事業番号		
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		健康づくり公園経常管理費							
									01	77						
予算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比	決算(千円)	3 年度実績	4 年度実績	5 年度実績	6 年度見込	7 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財	900	580	510			-70	その他特財	798	798	422			-376			
一般財源	141	677	596			-81	一般財源	103	37	402			365			
合計	1,041	1,257	1,106			-151	合計(A)	901	835	824			-11			
財源名称	協働のまちづくり推進助成金						従事正職員人数	1	1	1						
							延べ業務事務時間	50	50	50						
							人件費計(千円)(B)	171	168	167			-1			
	最終予算額		1,106 千円		予算執行率	74.5%		トータルコスト(A+B)	1,072	1,003	991		-12			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	定期的な利用もあり、活動が来ている。 公園管理についても適切に管理がなされている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	国民柔剣道場臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 5 年度課長名	小原 克則
06633	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	国民柔剣道場の照明器具が老朽化し、水銀灯の生産も終了していることからLED化する。	国民柔剣道場の照明器具が老朽化した為。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込 実績			11,627 12,116		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 柔剣道場利用者	ア 柔剣道場利用者	人	目標 実績 達成率			421 421 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 柔剣道場利用団体	ア 柔剣道場利用団体		目標 実績 達成率			5 5 100.0%		
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		国民柔剣道場臨時管理費					
	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	決算	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	前年比	
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			1,388			1,388	一般財源			1,388			1,388	
合計			1,388			1,388	合計(A)			1,388			1,388	
財源名称	従事正職員人数									1			1	
	延べ業務事務時間									15			15	
	人件費計(千円)(B)									50			50	
	最終予算額	1,388 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)			1,438			1,438	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設・設備等、老朽化してきており計画的な修繕が必要となっている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	